大学コンソーシアム東葛
第５回学生ワークショップ
研究発表会　報告書

【テーマ】

「東葛地域の未来像を考えよう！！」

主催　大学コンソーシアム東葛学生部会

目次

１　学生ワークショップとは・・・・・・・・・・・・・・・P.1

２　行事の詳細・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.2

３　参加者名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.3

４　スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.5

５　研究発表会プログラム・・・・・・・・・・・・・・・P.6

６　コース紹介，発表内容・・・・・・・・・・・・・・・P.7

松戸市コース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.8
野田市コース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.14
流山市コース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.23
柏市コース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.28
我孫子市コース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.36

７　全体講評・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.41

８　表彰・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.43

９　まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.44

１０　ふりかえりシート集計結果・・・・・・・・・・・・P.45

1　学生ワークショップとは

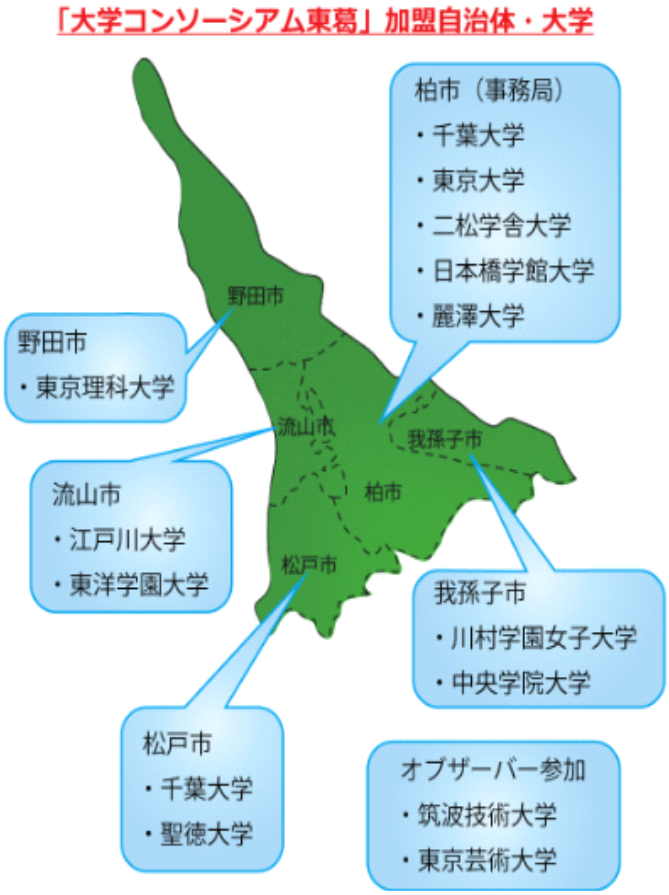
学生ワークショップは，大学コンソーシアム東葛学生部会の事業のひとつです。大学コンソーシアム東葛参加大学の学生が，東葛飾地域をより良くするために，各大学の垣根と専門を超えた交流から，地域の魅力や課題を掘り起こし，新たな街の活性化や街づくりなどのアイデアを「学生ならではの発想」で提案するイベントです。

大学コンソーシアム東葛とは？

大学コンソーシアム東葛は，東葛地域に所在する知的財産を活かしたまちづくりを進めるため，会員の大学・自治体との交流を深め，情報共有や意見交換などを行う組織です。
※平成18年度に「大学コンソーシアム柏」として設立し，平成23年度に当該団体名に改称。

【参加大学】
江戸川大学，川村学園女子大学，聖徳大学，千葉大学，中央学院大学，東京大学，東京理科大学，東洋学園大学，二松学舎大学，日本橋学館大学，麗澤大学，
※オブザーバー校：筑波技術大学，東京芸術大学

【参加自治体】
我孫子市，柏市，流山市，野田市，松戸市



学生部会とは？

大学コンソーシアム東葛参加大学の学生が有志で集まった団体です。
学生ワークショップの企画・運営を主体的に活動し，その他イベントの開催や他団体の企画に協力するなど多岐にわたり活躍しています。
【主に携わった企画】
・学生ワークショップの企画運営・逃走中ＩＮ柏の企画
・柏リップタブの出演・広報紙の取材・執筆
・とうかつ（東葛）学生一押し！free マップ☆の作成
・カシワデートマップの作成　など

※カシワデートマップは，H24年度学生ワークショップの提案が一部採用されて発行されました。

２　行事の詳細

名称	大学コンソーシアム東葛　第５回学生ワークショップ 「東葛地域の未来像を考えよう！！」
主催	大学コンソーシアム東葛　学生部会
内容	参加学生は，各市コース（我孫子市，柏市，流山市，野田市，松戸市）にそれぞれ分かれ，指導教授，アドバイザー，自治体，コーディネーターからアドバイスを受けながら，研究を進めました。 学生及び関係者が一堂に会した説明会（オリエンテーション）・勉強会・中間報告会の他，自主学習やフィールドワークを実施し，最終的に研究発表会で各市の未来像を発表しました。
開催日	平成 26 年 10 月 28 日（火）～平成 27 年２月 10 日（火）
場所	柏市中央公民館，聖徳大学香順メディアホール
対象者	大学コンソーシアム東葛加盟大学の学生，大学院生
参加費	無料
参加者	合計 65 名 【大学生】　８大学 32 名 江戸川大学　４名　川村学園女子大学　４名 聖徳大学　６名　　中央学院大学　２名 東京理科大学　２名　東洋学園大学　５名 日本橋学館大学　５名　麗澤大学　４名 【協力教職員】　　８大学 20 名 江戸川大学　２名　川村学園女子大学　２名 聖徳大学　３名　中央学院大学　２名 東京大学　２名　東洋学園大学　２名 日本橋学館大学　３名　麗澤大学　４名 【コーディネーター】　１名 【自治体職員】　５市 12 名 我孫子市　３名　柏市　２名　流山市　２名 野田市　２名　松戸市　３名

３　参加者名簿

◆学生

市	大学	学部学科	学年	氏名
我孫子市	川村学園女子大学	生活創造学部	２年	上利　夏紀
	川村学園女子大学	生活創造学部	２年	井藤　聡美
	中央学院大学	法学部	１年	中山　拓海
	麗澤大学	外国語学部	３年	鬼柳　まい
	東洋学園大学	現代経営学部	３年	長谷川　慶太
	聖徳大学	人文学部	３年	渡辺　万貴
柏市	中央学院大学	商学部	２年	橋爪　智勇
	日本橋学館大学	リベラルアーツ	４年	内田　涼太
	日本橋学館大学	リベラル	１年	塔本　夏帆
	麗澤大学	外国語学部	３年	林　千種
	東洋学園大学	現代経営学部	２年	河村　茉実
	江戸川大学	メディアコミュニケーション学部	４年	佐藤　創
	聖徳大学	文学部	２年	佐藤　晴菜
流山市	川村学園女子大学	生活創造学部	２年	関　佑利恵
	麗澤大学	経済学部	１年	中村　友美
	麗澤大学	経済学部	１年	松村　良寛
	東洋学園大学	現代経営学部	２年	須藤　美香穂
	江戸川大学	社会学部	４年	河島　光児
	江戸川大学	メディアコミュニケーション学部	３年	木村　駿之介
	聖徳大学	人文学部	３年	村上　真梨
野田市	日本橋学館大学	リベラルアーツ３	１年	児島　寿和
	東洋学園大学	人間科学部	２年	西山　由季
	江戸川大学	メディアコミュニケーション学部	３年	尾形　優衣
	東京理科大学	理工学部	３年	植松　満
	東京理科大学	理工学部	３年	永野　雄大
松戸市	川村学園女子大学	生活創造学部	２年	佐瀬　純香
	日本橋学館大学	リベラルアーツ	３年	栗原　航
	日本橋学館大学	リベラルアーツ	１年	小川　秀平
	東洋学園大学	人間科学部	２年	丸山　明美

	聖徳大学	人文学部	３年	遠藤　広菜
	聖徳大学	人文学部	３年	伊東　千恵
	聖徳大学	文学部	２年	金沢　芽衣

◆関係者

コーディネーター：（一財）柏市まちづくり公社　　豊田　亜美

市	役職	所属		氏名
我孫子市	指導教授	川村学園女子大学	生活創造学部教授 観光文化学科長	西岡　祥文
	指導教授	中央学院大学	商学部教授 生涯学習センター長	望月　敏江
	アドバイザー	川村学園女子大学	庶務課長	服部　隆
	アドバイザー	中央学院大学	アクティブセンター事務課長	武藤　恵子
	自治体	我孫子市	企画財政部企画課	安武　真弓
	自治体	我孫子市	企画財政部企画課	小嶋　敬一
	自治体	我孫子市	企画財政部企画課	伊藤　貴彦
柏市	指導教授	日本橋学館大学	リベラルアーツ学部教授総合文化学科長	佐々木　さよ
	指導教授	日本橋学館大学	リベラルアーツ学部総合経営学科教授	宮入　小夜子
	指導教授	麗澤大学	経済学部教授 麗澤オープンカレッジ長	成相　修
	指導教授	麗澤大学	経済学部助教	圓丸 哲麻
	アドバイザー	日本橋学館大学	総務会計課長	小川　一明
	アドバイザー	麗澤大学	学事部長	今村　稔
	アドバイザー	麗澤大学	学事部 大学院・ オープンカレッジグループ	横田　茂弘
	自治体	柏市	地域づくり推進部協働推進課	三小田　雄亮
	自治体	柏市	地域づくり推進部協働推進課	根本　麻里子
流山市	指導教授	東京大学	フューチャーセンター推進機構准教授	ｽﾃｨｰｳﾞｪﾝ ｸﾚｲﾈｽ
	指導教授	東洋学園大学	グローバル・コミュニケーション学部教授	加藤　良則
	アドバイザー	東京大学	柏地区共通事務センター	佐藤　弘樹
	アドバイザー	東洋学園大学	総務部	駿河　亜希子
	自治体	流山市	総合政策部企画政策課	日向　茂人
	自治体	流山市	総合政策部企画政策課	田村　健一

野田市	指導教授	江戸川大学	社会学部現代社会学科教授	土屋　薫
	アドバイザー	江戸川大学	企画総務課長	杉山　保憲
	自治体	野田市	企画財政部企画調整課	小川原　一浩
	自治体	野田市	企画財政部企画調整課	初見　龍一
松戸市	指導教授	聖徳大学	人文学部教授　女性キャリア学科長	眞壁　哲夫
	アドバイザー	聖徳大学	知財戦略課長	本田　宗治
	アドバイザー	聖徳大学	知財戦略課	豊村　綾子
	自治体	松戸市	総合政策部政策推進課	齋藤　寛之
	自治体	松戸市	総合政策部政策推進課	籾井　俊二
	自治体	松戸市	総合政策部政策推進課	柏木　謙一

4　スケジュール

日時・場所	内容	
10月28日(火) 19時～21時 柏市中央公民館	説明会	仲間を知る，担当市を知るため，グループワークを行いました。また，各自の事前勉強を共有し，各市情報の洗い出しを行いながら，フィールドワーク先を選定しました。
11月11日(火) 19時～21時 柏市中央公民館	勉強会	江戸川大学の土屋教授による「アイデアの出し方・絞り方」のグループワークの後に，各市コースごとに，アイデアの共有と絞り込みを行いました。
12月16日(火) 19時～21時 柏市中央公民館	中間報告会	各市コースの学生は，自主学習やフィールドワークを通して，提案のおおまかな方向性を発表しました。各市コースとも，具体的なアイデアが決まらない中で，指導教授からの講評を参考に，提案の再検討を行いました。
2月10日(火) 14時半～17時 聖徳大学 香順メディアホール	研究発表会	各市コースの学生は，研究発表会に向けた発表の練習や提案資料の最終調整を行いながら当日を迎えました。

5　研究発表会プログラム

時間	プログラム	内容	会場
14:30	開会	開会のことば	香順メディアホール
14:33	はじめに	･研究発表会までの流れ ･本日の流れ	
14:40	各市コース発表 ※各市毎に個別解説(指導教授)	松戸市	
14:55		野田市	
15:10		流山市	
15:25		柏市	
15:40		我孫子市	
15:55	意見交換タイム	パネル展示会場で実施	香順メディアホールホワイエ
16:20	投票締切	投票シールで投票	
16:25	全体講評	指導教授	香順メディアホール
16:40	表彰式	･学生部会功労賞 ･最優秀賞	
16:55	閉会	閉会のことば	

研究発表会参加者　合計 77 名

【大学生】　８大学 25 名

江戸川大学 ４名　川村学園女子大学 ４名　聖徳大学 ５名

中央学院大学 １名　東京理科大学 ２名　東洋学園大学 ３名

日本橋学館大学 ４名　麗澤大学 ２名

【協力教職員】　８大学 19 名

江戸川大学 ２名　川村学園女子大学 ２名 聖徳大学 ３名

中央学院大学 ２名　東京大学 ２名　東洋学園大学 ２名

日本橋学館大学 ３名　麗澤大学 ３名

【コーディネーター】　１名

【自治体職員】　５市 ９名

我孫子市 １名　柏市 ２名，流山市 ２名，野田市 ２名，松戸市 ２名

【一般観覧者】　23 名

６　コース紹介，発表内容

◆松戸市コース

Cross Cultural Communication

◆野田市コース

「NODA 博」　～ノダを知ってもらうノダ！～

◆流山市コース

アプリでつながる子育ての未来「You-NKOS」

◆柏市コース

『おて宝(だま)の国プロジェクト』

◆我孫子市コース

手賀沼から未来に生きる者たちへ

各市コースの内容については，次ページから以下の順番で掲載

・提案報告書
・研究発表資料
・指導教授解説

「提案報告書」

1.コース	松戸市コース

2.メンバー

大学名	学年	名　前	大学名	学年	名　前
日本橋学館大学	３年	栗原　航	聖徳大学	３年	遠藤　広菜
川村学園女子大学	２年	佐瀬　鈍香	聖徳大学	３年	伊東　千恵
日本橋学館大学	１年	小川　秀平	聖徳大学	２年	金沢　芽衣

3.提案するアイデアのタイトル

Cross Cultural Communication

4.提案の理由

【地域の現状・課題，地域の隠れた魅力，新たな発想など】

2020 年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されるため多くの観光客が来ると見込まれる。それに向けて松戸の魅力である「サブカルチャーに積極的」「やさしさ」を訴えて異文化交流を図る。松戸に来る人「来松（らいまつ）」を増やして松戸を盛り上げたい。

5.提案の概要

・21 世紀の森の広場での異文化交流
・戸定邸で日本、松戸の歴史を知ってもらうイベント
・スマートフォン等の電子機器のアプリケーションを作る

6.提案する具体的な事業内容

【事業内容については，具体的に記載して下さい。】

※アイデアの実施・運営方法，地域との連携方法なども

・21 世紀の森の広場ではファッション、音楽、ゲーム、食、祭り自然の６つを柱として異文化交流を図る。又、四季を生かしたイベントを行うことで何度も足を運んでもらうよう工夫する。

ファッション:世界各国の衣装をアレンジしてコンテストを行う。

コスプレの聖地と呼ばれる 21 世紀の森の広場でアニメ、漫画のコスプレイベントを行う。

音楽:世界各国のミュージシャン、松戸のアーティストを呼び野外ライブを行う。
ゲーム:21 世紀の森の広場の特徴である広さ、自然を生かし外国人に分かりやすい単純なゲームを行う。じゃんけん列車、手つなぎ鬼、騎馬戦、宝探し、スタンプラリー。松戸班を探せ!
食:世界各国の料理の店を出す。又、松戸はラーメンが人気なので一昨年前の松戸の発表内容である「ラーメンカーニバル」を行う。
祭り:松戸の盆踊り、夏祭りを体験してもらう。又、世界各国の祭りも行う。
自然:千駄堀を利用して噴水等の水のイベント、イルミネーション。
四季を生かしたイベント
春:様々な植物の花見、フリーマーケット。
夏:松戸の盆踊り、夏祭り。流しそうめん。
秋:落ち葉を利用した迷路、BBQ 会
冬:イルミネーション
・戸定邸のイベントでは日本・松戸の歴史を知ってもらう。そのために以下の６つのイベントを行う。①日本の文化である怪談話を行う。②富士山や東京スカイツリーなどを見ながら当時の食事を楽しんでもらう。③婚活イベント「戸定コン」を学生が主催④当時の衣装を実際に着てもらう。⑤衣装を着てもらった状態で人力車や徒歩で松戸をかんじてもらう。⑥江戸川と坂川をカヌーに乗り、松戸の景観を楽しんでもらう。
・スマートフォンなど電子機器用のアプリケーションを作る。内容としては①21 世紀の森の広場でのイベントに使用②松戸の名所をマップとして表示（ナビ機能も搭載）③外国の料理を提供する店の紹介。④外国人に人気の店ランキング⑤飲食店と連携し短期間のクーポンを配信⑥松戸のイベント情報
既にアプリをインストールされているパッドを配布する。又、アプリをインストールされている端末を松戸中に設置し印刷できるようにする。

7.期待される効果（目標）

【事業の実施によりどのような効果が期待されるか？】
・定期的に観光客が松戸に訪れることにより公共機関を利用する機会が増える

・地元の商店街や飲食店に対し経済効果が生まれる。 ・人種、国籍を超えた交流をすることで日本との違い、日本の良さ、様々な考え方、生活の違い等を理解することができる。
8.アイデアを作成にあたって，どのような地域調査やヒアリングを行い，どのようなアドバイスを貰いましたか？
・実際に 21 世紀の森の広場、戸定邸をフィールドワークした。 戸定邸では市役所の職員とボランティアに解説して頂いた。それらの場所の特徴を生かし松戸しかできないイベントを考えるよう指導して頂いた。
9.その他，ＰＲしたい事などを自由に記載して下さい。
私たちが提案する発表内容はあくまで外国人とコミュニケーションをとれるきっかっけを与えるに過ぎない。このようなイベントがなくても自然と外国人とのコミュニケーションがとれる街を目指す。

Cross Cultural Communication
聖徳大学 3年 遠藤 広菜
聖徳大学 3年 伊東千恵
聖徳大学 2年 金沢芽衣
日本橋学館大学 3年 栗原航
川村学園女子大学 2年 佐瀬純香
日本橋学館大学 1年 小川秀平

Cross Cultural Communicationとは？
2020年 東京オリンピック
1000万人の観光客の予想
世界中に松戸を知ってもらうイベント
外国人と自然にコミュニケーションが取れる街
グローバルタウン
松戸

異文化交流
21世紀森の広場
戸定邸
アプリケーション

21世紀の森の広場
ファッション
音楽
自然
食
ゲーム
祭り

イベント内容
ファッション
• 民族衣装を利用したコンテスト
• 漫画、アニメのコスプレイベント
音楽
• 世界各国のミュージシャンによる野外ライブ
• 松戸のアーティストによる野外ライブ
食
• ラーメンカーニバル
• 世界各国の料理の店を出す
自然
• 千駄堀を利用した噴水のイベント
ゲーム
• じゃんけん列車、手つなぎ鬼、宝探し
スタンプラリー、松戸版を探せ！
春
• 様々な植物の花見、フリーマーケット
夏
• 松戸の盆踊り、夏祭り、流しそうめん
秋
• 落ち葉を利用した迷路、BBQ会
冬
• イルミネーション
プロジェクションマッピング

戸定邸
名勝指定
怪談
戸定コン
当時の食事
松戸の歴史
カヌーでぶらり
コスプレ
伝統品を作る

アプリケーション

①21世紀森の広場でのイベントに使用
②松戸の名所を紹介（ナビ機能も搭載）
③外国の料理を提供する店を紹介
④外国人に人気の店ランキング
⑤飲食店と連携し短期間のクーポンを配信
⑥松戸のイベント情報配信

・既にアプリケーションがインストールされているパッドを配布
・アプリケーションがインストールされている端末を松戸中に設置し、印刷できるようにする。

私たちが目指す未来

世界中に松戸を知ってもらうイベント

外国人と自然にコミュニケーションが取れる街

グローバルタウン松戸

◆松戸市コース解説

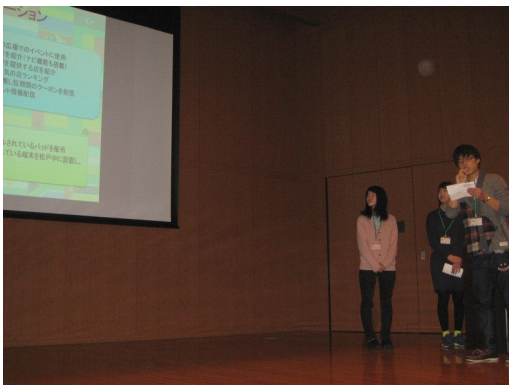
聖徳大学　眞壁　哲夫　先生

学生達の提案は，松戸市＝グローバルタウンという提案。２０２０年の東京オリンピックに開催向けて海外から多くの人が松戸に来るため，それに向けて今から異文化交流のイベントを行い，いつも街の中に海外の人があふれているような，町の人々が自然に海外の人と交流できる町にしたいという提案である。

イベントを行う場所として松戸が世界に誇る場所２つの場所を挙げた。２１世紀の森の広場は，とても広く，豊かな自然があり，世界の都市に比べても日本的魅力に富んでいる。これまでもコスプレの聖地，トップアートの殿堂など売り込みをしている場所でもある。イベントは他にはない学生らしいもので，ゲームも子どもの頃を思い出す内容である。戸定邸は，重要文化財で，この度名勝に指定されることが決まった。徳川家最後の将軍，慶喜の弟が建てた館であり，慶喜がしばしば訪問したこと，また，徳川昭武が 1867 年のパリ万国博覧会に慶喜の名代として行ったグローバル人材であるということからも，海外の人へのアピールにもなる。

松戸らしい２つの場所でイベントを行うことに加え，アプリケーションを使うことも提案し，松戸の魅力を楽しみながら知ることが出来る学生らしい発想に満ちたものである。

≪松戸市コース発表風景≫



「提案報告書」

1.コース	野田市コース				
2.メンバー					
大学名	学年	名　前	大学名	学年	名　前
東京理科大学	３	植松満	江戸川大学	３	尾形優衣
東京理科大学	３	永野雄大	日本橋学館大学	１	児島寿和
3.提案するアイデアのタイトル					
「NODA 博」　～ノダを知ってもらうノダ！～					
4.提案の理由					
【地域の現状・課題，地域の隠れた魅力，新たな発想など】 少子高齢化が進み、街に活気がなく、影の薄い野田市だが、醤油はもちろんのこと、せんべい、漬物、お酒などの特産・名産品や枝豆や黒酢米といったバラエティー豊富な農産物の他、ホワイト餃子本店、けやき食堂などの個性的なお店があり、意外とグルメな街であることに加え、自然が豊かで、清水公園を始めとする自然公園が各地に点在し見所が多い。 そこで「NODA 博」というイベントを開催し、若者や子供達、外国人も含め、野田市内外の人々の交流の場を設けると同時にこれらの魅力をたくさんの人に知ってもらうきっかけを作り、地元離れを食い止め、また新たな観光需要を創出し、野田の街に存在感を与えることで地域経済と交流の活性化に貢献したい。					
5.提案の概要					
清水公園の一角を借りて行う。「NODA 博」は参加者がグルメを味わい、自然に囲まれながら体を動かしたり、地元の小中学校や大学、文化サークルなどの音楽演奏を楽しんだりする中で、市の多種多様な魅力を知ると同時に野田市内外の人々と交流を深めることのできる、まさに「野田市の博覧会」である。 開催は 11 月を予定している。これには清水公園の一番の繁忙期・春を避け、場所を提供して頂き易いシーズンを選んだという現実的な					

理由の他、味覚の秋、スポーツの秋、文化の秋という観点からもイベント内容とマッチし、ベストだと思われたからである。

運営者は私達と私達が所属する学生団体や友人に協力を募る他、ある部分では参加者自体も運営に関わって頂き、一丸となってイベントを作り上げていけるように工夫している。

イベント内容は前述したように季節と合い、かつ若者や子供に加え海外の人にも楽しんでもらえるものを用意している。それに加え、このイベントの運営方法と内容が、ある程度の動員数を確実に見込むことのできるように、また参加者間で交流を深められるように、設計されている。

また NODA には内容と関連して Ninja ・ Ongaku ・ Dokagui ・ AtsuAtsu という意味合いも込められおり、これらに関しては次の６にて詳述する。

広報活動に関しては積極的に Twitter や Facebook などの SNS を活用するほか、市内外の各所に協力を仰ぎ、オリジナルのポスターを貼らせて頂くつもりである。

6.提案する具体的な事業内容

【事業内容については，具体的に記載して下さい。】

※アイデアの実施・運営方法，地域との連携方法なども

イベント内容は基本的に Ninja ・Ongaku ・Dokagui ・AtsuAtsu という４つのキーワードに関連するプログラムによって構成されており、各会場はそれぞれ近接しており移動時間は徒歩 3～5 分程度であり、トイレも完備している。どれも駐車場の近くにあり、器具等持ち運ぶ運営者からしても、来訪者からしても大変便利である。

１． Ninja 合戦＆忍術体験

野田市には日本の伝統的な忍法を今に伝える戸隠流忍法 34 代目宗家、初見良昭先生が在住され、武神館という道場を構えている。現在世界五十ヶ国に道場が存在し、世界各地から訪れる門下生に実践的な武術の指導をされており、武術考証家・演出家としても日本映画にも貢献されている。

そこで忍者コーナーを設け、武神館に協力してもらい、子供達や外国人観光客に実際の忍術を見学・体験してもらう。最近では海外の

Ninja ブームはもとより、「NARUTO」などの忍者アニメ等から子供達や若者の忍者への関心も高く、これが外国人や子供達の参加者を見込むことのできる一つの所以である。これらの客層を踏まえ忍者のコスプレコーナーや記念撮影コーナーも設ける予定である。

会場はフィールドアスレチックゾーンで、忍術体験に加え、アスレチックを利用して忍者をモチーフとしたゲームを開催し、子供達を中心に楽しんでもらう。ゲームの名前は「忍者合戦」で、大まかに説明すると参加者はいくつかのチームに分かれ各チームの陣地である「お城」とそこに待機する「お殿様」役を一人決め、あとのメンバーは「忍者」役として決められたアスレチックを攻略しながら、敵チームの「お城」に到達し、「お殿様」にじゃんけん勝負で勝つとポイントをゲットする。またアスレチックで敵と遭遇したときもじゃんけんで勝負し、負けた場合は味方チームの「お城」からリスタートとなる。一番ポイントの高かったチームは大食いコーナーと同様に優勝景品を用意する。

このプログラムの狙いは忍者文化について理解を深め、国際交流や新たな観光需要を創出すると同時に、体を動かす遊びの中でチーム内の交流を図ることなどである。

２．　Ongaku を楽しもう

マーチングバンド全国大会の常連校、市立南部中学校吹奏楽部や、東京理科大学野田キャンパスの JAZZ やバンドなどの様々な音楽サークル、また琴や三味線といった市民の伝統文化サークルなどに協力してもらい、若者から高齢者、外国人まで多様な客層に対応できるジャンルの音楽を演奏して頂く。

開会式や閉会式の主役を務めて頂いたり、各プログラム間に空白がないように楽しい時間を演出して頂くと同時に、演奏を終えた方々にはイベントの客として楽しんで頂きたい。

場所は機材搬入やセッティングがし易く、道路から目につきやすく集客効果も見込めそうな第三駐車場で行う。

３．　Dokagui コンテスト

醤油の街、野田を象徴するような銘菓、㐂月堂さんの醤油カステラ「風紫」の大食いコンテストを開催する。優勝者には野田の名産を詰

合せた景品を用意し、コンテスト参加者以外にも味わっていただけるように醤油カステラの直売所も設けるつもりである。

会場はセッティングに便利な第三駐車場、プログラムの狙いは若者にも楽しんでもらうことである。

４．　AtsuAtsu ちゃんこ鍋

まず季節に合うこと、野田の代名詞・醤油や野田産の野菜を使うこと、海外の人に相撲にも関連する日本らしい鍋文化を楽しんでもらうこと、交流が生まれることなどに加え、野田市出身初の幕内力士、旭日松広太さん（友綱部屋）を地元で応援したい、という理由から私達はちゃんこ鍋に注目した。

会場は２００人以上収容可能なBBQ広場で、参加費は概算で約１０００円程度、運営者は野田市で作られた醤油と野菜を用意し、参加者はそれぞれ思い思いの具材を持ち寄ってもらい、運営・参加の垣根を越えてみんなでちゃんこ鍋を作り、交流を深めながら作りたてアツアツのちゃんこ鍋をみんなでワイワイ食べる。また野田市イチ押しの安全安心のお米、黒酢米を炊いて一緒に食べて頂く。会場では野田の野菜直売所「ゆめあぐり」さんに協力してもらい野菜の販売も行い、直接野田の農業に貢献したいと考えている。

以上のプログラムを無理のないタイムスケジュールで開催する。これについてはパワーポイントにて詳しく解説する。

7.期待される効果（目標）

【事業の実施によりどのような効果が期待されるか？】

集客に関しては、音楽演奏の奏者や忍術道場関係者の方にも客として参加して頂くシステムのため、少なくとも１００人、奏者１人あたりの友達や親類などの来訪を１人と考えると、さらに１００人、広報活動による子供・外国人・一般参加者を100人程度と、少なく見積もっても１０００人以上の参加者は確保できると考えている。

１では海外の人を中心とする新たな観光需要の創出と国際交流や、子供たちが新しく友達を作り、ひいては地域の新たな交流が生まれることなどが見込まれる。

２では訪れた人々が、市民の演奏する様々な音楽に触れながらこのイ

ベントを楽しむことができるほか、地元の文化活動に目を向けるきっかけともなりうる。

３では野田市の醤油カステラをきっかけとして銘菓や名産への関心を向け、市の魅力の発見と地元産業の振興が期待される。

４では地元市民の醤油や野田の農産物の消費促進、観光客の醤油の街としての野田の認識強化、また交流の深化が期待される。

総合的には地域の魅力を多様な形で認識しながら、海外を含めた野田市内外の人々の交流が生まれることで、野田市の存在感を強め、子供達や若者が地域のアイデンティティーを再認識することによる地元定着に加え、新たな観光需要と消費拡大による地元経済の活性化などが期待される。

8.アイデアを作成にあたって，どのような地域調査やヒアリングを行い，どのようなアドバイスを貰いましたか？

このワークショップに参加する以前は私達自身野田の魅力を知らなかったので、キッコーマン工場に見学に行ったり、ボランティア団体「むらさきの里」の人に観光案内を依頼したりした。これらを通して野田市と醤油の繋がりの強さと深い歴史を改めて勉強し、やはり醤油を中心にすえたグルメイベントの方向で進めていた。

しかし自治体の方に私たちのアイデアが既に似たような形で実行されていたことを教わったり、当初春に開催する予定で清水公園に実地調査に行った結果、管理会社の方に繁忙期は難しいというお話を伺ったりと、独創的なアイデアを案出することはもとより、それに実現可能性を持たせるレベルまで形にするのはかなり苦労した。

9.その他，ＰＲしたい事などを自由に記載して下さい。

野田市コース

東京理科大学　植松　満
東京理科大学　永野　雄大
江戸川大学　尾形　優衣
日本橋学館大学　児嶋　寿和

野田市と言えば・・・

- 醤油の街
- 少子高齢化
- 街に活気がない

野田市にはまだまだ魅力が沢山ある！！！

私たちが提案したいテーマ

「NODA博」

～ノダを知ってもらうノダ！～

このイベントを通して野田市民だけでなく市外の人々との交流を増やし、多くの人びとに野田市の魅力を知っていただき、野田の街に存在感を与え、街の活性化に繋げたい。これが私達の考える野田市の未来像である。

「NODA博」の内容

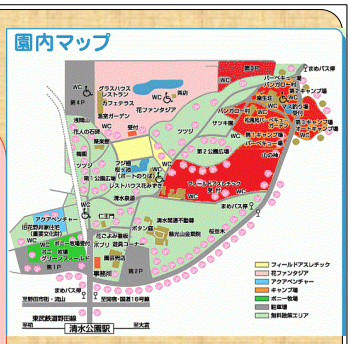
Ninja
Ongaku
Dokagui
AtsuAtsu

開　催　月：１１月
場　　所：清水公園
アクセス：清水公園駅より
　　徒歩約１０分

清水公園について

- **開催時期**の選定について
→春は花見の季節のため多くのお客さんがお越しになるので繁忙期の季節を避けるため。またイベント内容が文化の秋、スポーツの秋、食欲の秋にピッタリ！
- **開催場所**の選定について
→自然豊かであり、全国でも最大規模のアスレチックなどの施設が充実しているため。

※マップの赤い部分が会場



清水公園管理事務所よりフィールドアスレチックまで徒歩５分。フィールドアスレチックよりキャンプ場、第三駐車場まで徒歩５分。

N：Ninja合戦＆忍術体験

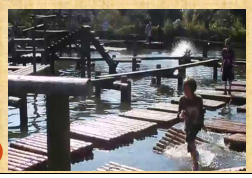
- 野田市には古武術道場があることをご存知ですか？武神館という世界的には忍者道場として有名な道場があります
- 忍術指導者の方による公開忍術＆体験忍術コーナーを設置
- 場所はフィールドアスレチック→

みんなで忍者コスプレしようってばよ！

子供にも外国人にも人気！

せっかくだから忍者のコスプレをして参加したら更に楽しいかも！

並行してフィールドアスレチックを使ったチーム対抗の「Ninja合戦」というゲームも行われるよ！



勝ったチームにはお宝がもらえるかも！？

7

O：Ongakuを楽しもう

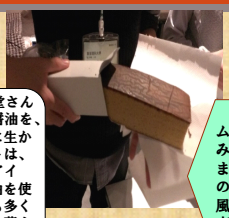
- 野田市立南部中学校吹奏楽部の方に演奏を依頼
- マーチングバンド
- 全国大会の常連校！！

【マーチングバンド全国大会】
平成26年度：銀賞
25年度：金賞
24年度：銀賞

- 理科大のサークルや野田市の音楽サークルなどに依頼して演奏していただく
- 場所は第三駐車場

D：Dokaguiコンテスト

醤油カステラ



今や、全国的にも有名である鳳月堂さんの醤油カステラは、野田で誕生した醤油を、古来の伝法にて焼き上げるカステラに生かしている。このカステラ誕生のヒントは、平成八年に、野田市民から新商品のアイディアを広く募集したところ、「醤油を使用したカステラ」と言うご意見が最も多く寄せられ、商品名の「風紫」も一般公募より名付けられたそうです。

実際にチームメンバーのみんなで頂きましたが、ほのかに醤油の風味がして大変美味しかったです。

「挑　戦　者　求　ム。」

Dokaguiコンテスト↓

鳳月堂さんに協力を求める

- 野田市名物醤油カステラを食べまくれ！
- 優勝者には景品を！
- 醤油カステラ直売所も設置
- 場所は第三駐車場
  広いスペースがあり、
  機材の搬入などもしやすい。
  トイレあり。

10

「野田の醤油をつかって、みんなでちゃんこ鍋を作って食べませんか？」

A：AtsuAtsuちゃんこ鍋！

そもそもなんでちゃんこなの？
日本独特のちゃんこ鍋で外国人に興味を持っていただく。また、開催時期の寒い季節にピッタリ！
具材はなんでもあり！野田市の特産物を持ち寄ろう！

交流が生まれる！

野田市特産品

黒酢米

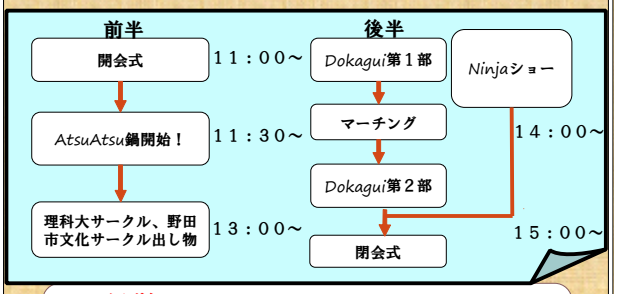
ほうれん草

野田市の農作物直売所「ゆめあぐり」さんに協力を求め、ちゃんこ鍋用の農作物を提供していただく。また、野田市特産の野菜直売所も設置。

- 場所は清水公園のBBQ場
  約２００人以上収容可能！
  調理器具、椅子、テーブル完備！
- 参加費約１０００円

12

・当日のタイムスケジュール



・運営について

学生ワークショップに参加している学生の皆さんに協力していただく。また、東葛地区の大学生や住民の方にボランティアとして協力していただける人を募る。

13

・見込めるイベント参加人数について

参考データ

- 清水公園で過去に開催されたイベントは昨年のJA祭と野田１グランプリの２回！→トレンド性がある！
- 昨年１２月２８～３０日に開催された「コミックマーケット８７」（東京ビックサイト）で合計５６万人参加！また、１０月２５、２６日に開催された「池袋ハロウィンコスプレフェス２０１４」では５２０００人参加！→空前のコスプレブーム！！
- ３日間で理大祭来場者数約２万人！１日で約７０００人。

これらのデータより

演奏者	１００
演奏者の関係者並びに保護者	１００
大学生	１００
外国人	５０
子供並びに中高生	１００
野田市民	４００
コスプレイヤー	５０
野田市外の方	４００
合計	１３００

14

最後に・・・

「NODA博」を通して多くの方々に野田市の魅力を知っていただけると私達は思っています。

そうすることで野田市の未来像へ向かって一歩前進すると信じています。

15

おしまい

ご清聴、ありがとうございました。

16

◆野田市コース

江戸川大学　土屋　薫　先生

野田市の現状認識として，影が薄いけれど資源があるということに基づき，資源はあるので周知を図り交流を進めていくという方向性で考えた。
そこで，博覧会の仕組みを使い，交流創出をしていくことを考えた。
現状認識に基づき，方向性を決めて，博覧会という手段を持って進めるというプランニングをした。
イベント参加者数は，理大祭や地域イベントの集客という既存の枠組みから説明した数字を算出した。
忍者合戦については，テレビ番組のサスケのような案も出ていた。体を動かすだけでなくコスプレもあり，体力がなくても参加できる余地があるバランスの良いイベント配置を考えていた。
キーワードは交流ということでつながりを意識したもので，ちゃんこなべ→特産品使用→持ち寄りと，皆でつながっていくものである。
つながりとバランスのある内容になっている。

≪野田市コース発表風景≫

「提案報告書」

1.コース	流山市コース				
2.メンバー					
大学名	学年	名　前	大学名	学年	名　前
江戸川大学	3	木村駿之介	聖徳大学	3	村上真梨
江戸川大学	4	河島光児	東洋学園大学	2	須藤美香穂
麗澤大学	1	中村友美	川村学園女子大学	2	関佑利恵
麗澤大学	1	松村良寛			
3.提案するアイデアのタイトル					
アプリでつながる子育ての未来「You-NKOS」					
4.提案の理由					
現在の流山市の行政は、積極的に子育てに力を入れているが、それに結果が伴っていない。また、子育て世代のコミュニティがうすいので、現代の情報技術を用い、ネットのコミュニティを通じて現代の地域コミュニティの強化を図る。					
5.提案の概要					
●子育て支援サイト、アプリの作成・利用 ・機関紙(広報流山)の子育て情報など ・お店の情報(クーポン、子どもが入れる、kids station) ・最新防犯情報通知 ・空き状況(店、病院、一時預かり) ・(チャット) ・イベント情報、交流会情報 ・レシピ ・Q&A ・専門家のアドバイス					

6.提案する具体的な事業内容
【事業内容については，具体的に記載して下さい。】 ※アイデアの実施・運営方法，地域との連携方法なども ・２段階、登録制 ・市が管理、運営 ・市とお店、施設が連携する ・Promotion　→　PR動画(ストーリー仕立て)
7.期待される効果（目標）
【事業の実施によりどのような効果が期待されるか？】 ●内部 ・子育て世代の不安解消 ・地域コミュニティの強化を安全に ・効果的に情報収集できる ●外部 ・流山市で子育てがしたくなる
8.アイデアを作成にあたって，どのような地域調査やヒアリングを行い，どのようなアドバイスを貰いましたか？
・フィールドワークを行い現地調査 ・市の発表している情報の収集 ・アドバイザーや自治体の方からのアドバイス ・自治体の方からの情報提供(市民の意見など)
9.その他，ＰＲしたい事などを自由に記載して下さい。

流山市の未来像の提案

流山班

木村駿之介
河島光児
中村友美
松村良寛
村上真梨
須藤美香穂
関佑里恵

流山市の強み

目を向けたのは…

URL:http://www.madamerirl.com/wp-content/uploads/2013/11/af0100031649l_jpg

流山市に住む子育て世代！！！

流山で子育てするメリット

交通

自然

利便性

流山班提案

あなたのための流山子育て応援システム

You　　N K O S

You－NKOSシステム

- 2段階登録制

流山市民のみ

簡易登録 → 個人情報入力登録

- 市による管理・運営

市

相乗効果

店　施設

You－NKOSの目的

- ターゲット層　→　流山市在住子育て世代、外部子育て世代
- 子育て世代の支援
- 内部コミュニティの充実
- 外部宣伝

さまざまな機能・情報の掲載　第一段階

- 機関誌（広報ながれやま）の子育て情報
- 店の情報（クーポン、kids stationの有無）
- イベント情報、交流会情報
- 離乳食レシピ
- 特典でクーポンなど

さまざまな機能・情報の掲載　第二段階

- 最新防犯情報通知
- 空き状況（病院、店、一時預かり）
- コミュニティー内のチャット機能
- 地域Q&Aコーナー
- 地域交流会投稿スペース

未来像を考える

子育て世代

You-NKOS

利用することで…

不安・悩み解消

流山市の宣伝

コミュニティの拡大

ご清聴ありがとうございました！

◆流山市コース

東京大学　スティーヴェン　クレイネス　先生

未来像というと，自分の街はどういう風になってほしいかを考えることであると思う。

提案報告書には，コミュニティの現状が薄い，ネットのコミュニティを通じて現在の地域コミュニティを強化などと書かれている。また，学生さんは情報の世代でもある。大切なのは，未来の世の中の問題は個人単位ではなく，コミュニティ単位で対応すべきであるということだ。コミュニティは重要であり，これからの武器は情報であるため，アプリの上手い組み合わせは未来像として良い考えだった。

東洋学園大学　加藤　良則　先生

学生の発表の中に，行政が実施しているがきちんと成果が出ていないという話が出ていた。一歩先を行く学生達のネットを使った発想，現代の学生が取り組む切り口が良いと感じた。行政の人がまだ取り入れていないなら，取り入れてほしい内容だと思う。学生が考えている個人情報の扱いもポイントをついている。流山市の子ども子育て支援事業計画策定に関するニーズ調査報告書を見ると，色々な課題があり，子育て支援を知らない人やあまり利用したくない人が多いようである。共働き家庭が多い中で，子どもが熱を出した時は，親戚に預けるという人が多く，知らない人に預けるのは不安と感じている。こういう課題の克服も今後は大切であると感じた。少子高齢化の社会で，子育て支援に着眼したのは良い提案だと思う。

≪流山市コース発表風景≫

「提案報告書」

1.コース	柏市コース

2.メンバー

大学名	学年	名　前	大学名	学年	名　前
江戸川	4	佐藤　創	東洋学園	2	河村　茉実
聖徳	2	佐藤　晴菜	日本橋	4	内田　涼太
中央学院	2	橋爪　智勇	日本橋	1	塔本　夏帆

3.提案するアイデアのタイトル

『おて宝の国プロジェクト』

4.提案の理由

学生部会の事業として、お手玉を使用したセクターを越えた交流企画を提案する。お手玉には様々な可能性がある。日本人なら誰もが知っているお手玉を通じて人々が繋がるキッカケ、年齢・セクター関係なく市民が集まれるコミュニティをつくることを目的とする。

また、学生がイベントに参加する動機は様々である。学生のイベント参加率・街への関心の向上、及び大学間交流の機会を設けるために複数のイベントを提案する。学生部会の更なる発展も目的の１つである。

5.提案の概要

学生を中心とした複数のイベントを企画する。市内で活動する方々と共に開催し、お手玉を通じて人を繋ぐ事業を展開する。高齢者の居場所づくりとハンドセラピー、新世代が継承遊びを通して学ぶこと、お手玉飾りとアート、ジャグリングとフットバッグなど、様々な企画を行う中でセクターを越えた交流のキッカケが生まれる。

また、学生の興味の対象・価値観には個人差があるので、イベントに参加するキッカケを複数設ければ(ボランティア・スポーツ・ものづくりなど)、より多くの学生が興味を持ってくれる。その結果、学生部会がより活気ある団体になり、地域に関心を持つ学生が増え、地域イベントに積極的に参加するようになり、街と学生が協働する街になる。

6.提案する具体的な事業内容

・学生向け造形ワークショップ(柏おもちゃ図書館かたつむり)
ものづくりが、初対面同士の参加者の会話を促進する
・子供向け造形ワークショップ(ネクスファ柏、市内小学校など)
子供達にとっての先生になる体験、異世代交流
・学生向けジャグリング教室(千葉大 POSSUM)
大学間交流と、熱中の伝播、ジャグリング体験
・フットバッグ教室(レイソル)
レイソル選手による街づくり参加、フットバッグ講習
・1/2成人式「感謝の思いをカシワニお手玉に込めて」
カシワニお手玉のデザインと、投げないお手玉の普及

7.期待される効果（目標）

大学の枠を超えた交流が促進され、市内フリースペースの活用や飲食店利用などが増加する。学生の集会が生まれることにより、役所や市民団体との交流が容易となり、様々なコラボイベントが生まれる。

高齢者にはハンドセラピーや居場所づくり、子供には異世代との交流から遊びの学習、会社員はスポーツや芸術などの新趣味の発見ができる。お手玉という共通文化ができることによる共同体意識が芽生え、市民一丸となった街づくりを行える。

8.アイデアを作成にあたって，どのような地域調査やヒアリングを行い，どのようなアドバイスを貰いましたか？

・手づくりての市[柏で活動する・・・を調査]
・柏インフォメーションセンター[お手玉である理由の明確化をディスカッションし、柏で活動しているボランティア団体と裁縫に詳しい人を紹介していただいた]
・かしわおもちゃ図書館カタツムリ[お手玉の作り方とアイデアのヒアリングと多世代交流の楽しさを教わった]

9.その他，ＰＲしたい事などを自由に記載して下さい。

・提案の実現性の証明の為に、実験的に第一回のイベントを企画
[『お手会!』大学生を集め、お手玉作り交流のイベントを実施]
・日本の伝統である、お手玉で外国人イベントも可能
・市や大学に対して、提案の実現のための協力を得たい

おて宝(だま)の国プロジェクト

―多世代交流を目指して―

チーム KASHIWA

内田 涼太　塔本 夏帆　佐藤 創

橋爪 智勇　佐藤 晴菜　河村 茉実

全体の流れ

- 現状、問題提起
- 未来像
- お手宝プロジェクト
- 実際にやってみました
- イベントから見えたこと
- 運営、行政や大学に対して

柏市の現状、問題提起

東京へのアクセスの良さ、多くの商店

イベントも豊富、人もたくさん

市民団体も活発、サッカークラブもある

そんな柏の問題点は？

学生の街づくりに参加する意思

セクター間の壁

学生のまち、金沢の事例

金沢まちづくり学生会議

「**社長と乾杯**」や「**まちなか学生まつり**」など、**学生による街づくりが盛んに行われている事例**である。大関と金沢工業大学が共同開発した"**学生が飲める日本酒**"が、東京でもレセプションが行われた。

4

～東葛地域の未来像を考えよう～

我々が創造したい未来…

「セクターを越えた街づくり」

そのために・・・

5

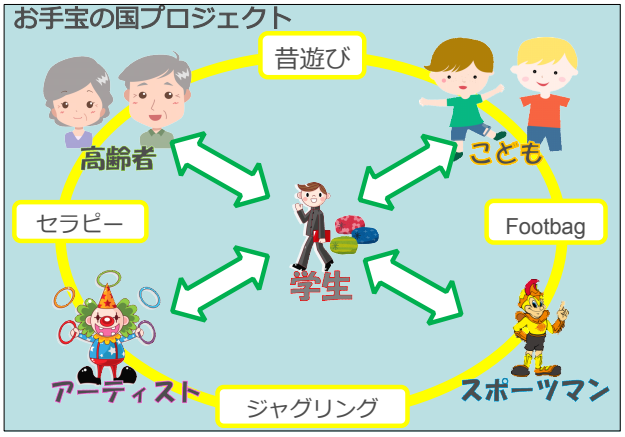
おて宝(だま)の国プロジェクト

お手玉を媒介とした大きなコミュニティ

学生が中心となり様々なイベントを企画

柏市＝お手玉の街　というムーブメント

6



お手玉の理由

①手作り可能

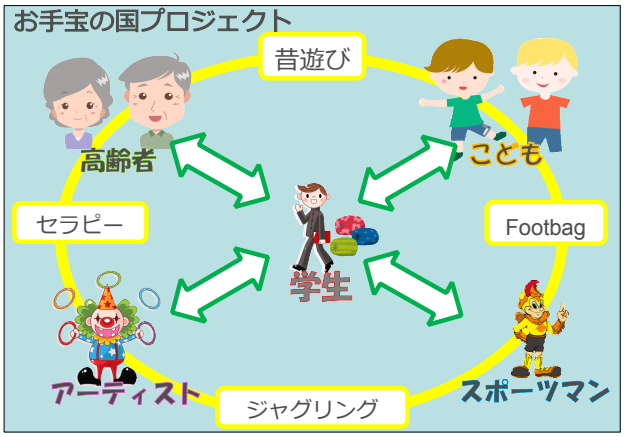
②日本の伝統

③誰でも、どこでも、交流

④柏市とのコラボ

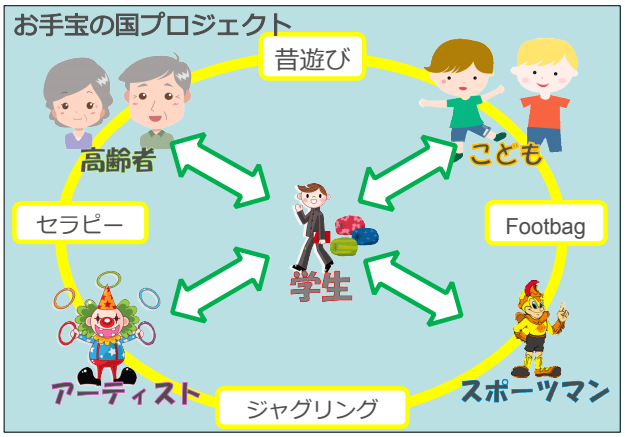
（お手玉飾り　⇒カシワニ　カブ）

8



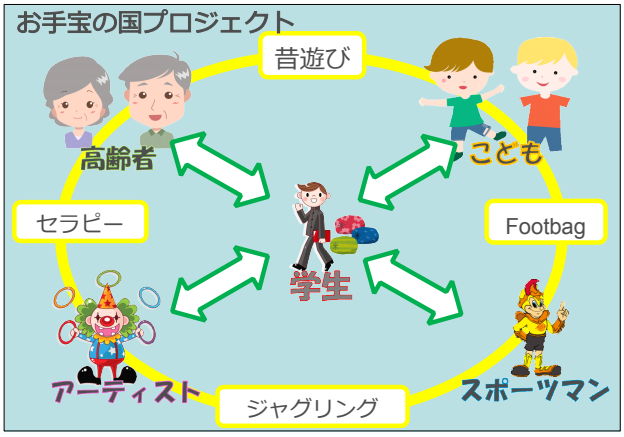
高齢者×学生×お手玉

- 企画内容
  介護施設でのお手玉交流
- メリット
  高齢者の居場所づくり
  ハンドセラピー
  ボケ防止
  若者と高齢者の交流



子供×学生×お手玉

- 企画内容
  ①子供向け造形ワークショップ
  ②子供向けお手玉遊びイベント
- メリット
  手先の器用さや運動神経の発達
  柏市を知ってもらう⇒カシワニお手玉



アーティスト×学生×おてだま

アーティスト

ジャグラーの方と**コラボレーション**することで、**学生がお手玉に挑戦する機会**を設ける。**つくったお手玉を華麗にジャグリング**する姿を子どもたちに披露することで、お手玉に**カッコイイ印象**を付ける。

美濃ラーメンどんぶり展のように、アーティスト(美術家)が手掛けたお手玉をアーティスト(ジャグラー)が投げるようなイベントを企画する。ジャグラーの高度な技術を学び、“**観る楽しさ**”を学習する。

アーティスト×学生×おてだま

アーティスト

・企画内容

①ジャグリングサークルの方と**コラボレーション**
学生がお手玉に挑戦する機会
子どもたちに、**カッコイイ印象**を付ける

動

②アーティスト(美術家)が手掛けたお手玉
普通のお手玉　⇒　芸術作品
アーティストの高度技術　“**観る楽しさ**”

静

アーティスト×学生×おてだま

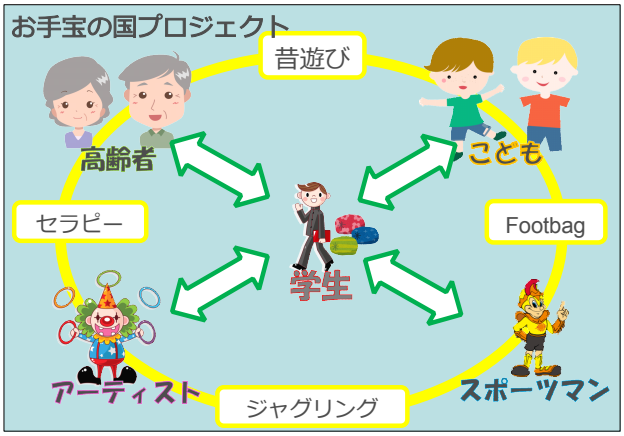
POSSUM

千葉大学
ジャグリングサークル
部員　１００名

アーティスト×学生×お手玉

- 企画内容
ジャグリング教室
-ジャグリング部の学生⇒子供たちに教える

- メリット
本格的に学ぶことができる
高度な技術による“観る面白さ”



スポーツ×学生×お手玉

- 企画内容
①Footbag ― 足で行うお手玉
②レイソルとのイベント

- メリット
レイソル人気により集客率倍増
Footbagでスポーツとしての利用

2. おて会！

柏レイソル

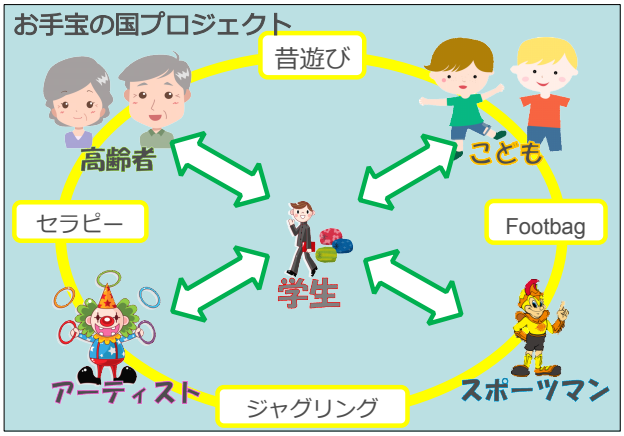
柏レイソルと一緒にフットバッグを行う企画

サッカー好きな学生を募集可能

レイソル選手との交流のフットバッグ選手権

20

お手玉の国プロジェクト



学生×学生×お手玉

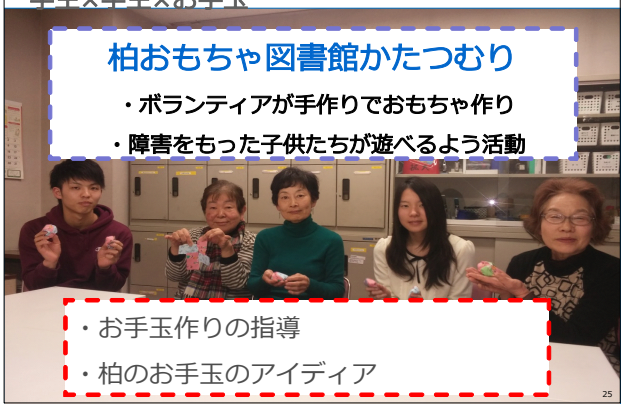
- 企画内容
①お手玉作りの学生交流イベント
-お手玉作りを通した他大学との交流
②チャリティお手玉の販売
-柏祭り、手作りての市などで、お手玉の販売
-利益は、寄付

学生×学生×おてだま

企画内容
①お手玉作りの学生交流イベント
-お手玉作りを通した他大学との交流
②チャリティお手玉の販売
-柏祭り、手作りての市 お手玉の販売
-利益は寄付（介護施設、特別支援学校）

実際にやってみた

学生×学生×お手玉

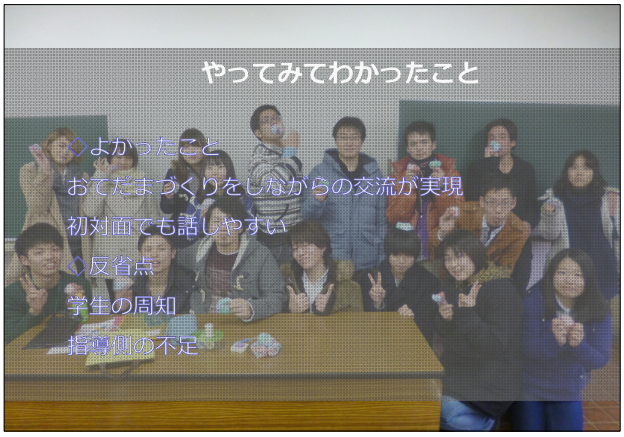


学生間の交流

- おて会！
- 2月3日
- 参加人数：17名
- 柏市中央公民館

おて会！当日の様子

やってみてわかったこと



おて宝の国　実現の為に

- 運営案

①学生部会
②柏ボランティアキャンパス
③新たな団体設立（おて部！）

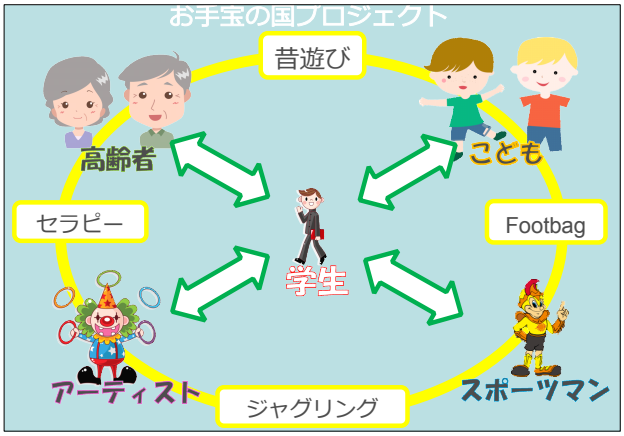
- 行政に求める事

資金面の援助、場所の提供、人集め、運営補助

- 大学に求める事

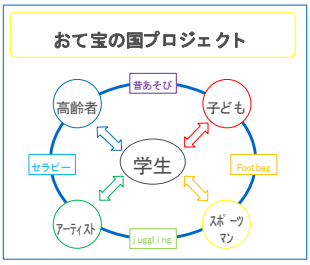
場所の提供、人集め

お手玉の国プロジェクト



2. おて宝の国プロジェクト

今回提案するモデル図である、**学生を中心として、セクターを越えた市民**が**お手玉**を通じて集まり、**大きなコミュニティー**が出来る。



ＫＥＮＤＡＭＡ(けんだま)の**再ブレイク**から、**昔遊び(継承遊び)**への関心が高まっている。**日本人が誰でも知っており、世代を選ばず遊ぶ事ができるお手玉**で遊び、**セクターを越えた交流**を試みる。**カシワニデザイン**の**お手玉**を制作すれば、**柏＝お手玉でプロモーション＆カシワニの周知**に貢献できるのではないか。

30

◆柏市コース

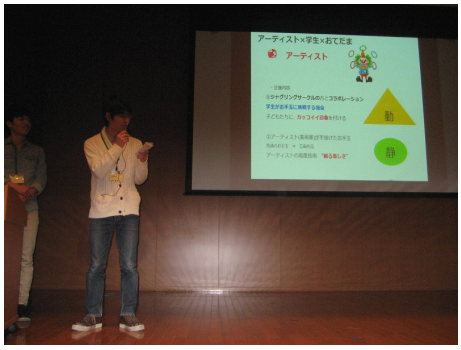
麗澤大学　圓丸　哲麻　先生

良い点を３つあげると，１つ目は，コンセプトが明確であること。
セクターを越えるということで，ターゲットがしっかりしており，かつターゲットごとにアプローチを変えている。
２つ目は，アプローチ方法がシンプルであること。お酒やすごろくを作る案もあったが，最終的にお手玉一つにしぼった。
３つ目は，行動力があること。費用がかからず実現可能性がある内容である。

日本橋学館大学　宮入　小夜子　先生

本当に自分達が楽しみながら未来のことをしっかり考えてくれたと思う。そして一過性のイベントでないところが一番魅力的な提案である。新しい文化を作り出す，まさに学生の若い力がこれからの柏市の文化を作っていくというもので，課題を引き算でなく，足し算でつないでいくと，アイディアが広がり，わくわく感じられたと思う。他のチームへインタビューしたり，千葉大のサークルが来てくれたように，東葛地区を越えて色々な人が参加してくれることを実証してくれた。地に足がついた，学生らしい未来を考える，輪がつながるイメージを持てた提案であった。

≪柏市コース発表風景≫



「提案報告書」

1.コース	我孫子市コース				
2.メンバー					
大学名	学年	名　前	大学名	学年	名　前
東洋学園大学	3	長谷川慶太	川村学園女子大学	2	井藤聡美
聖徳大学	3	渡辺万貴			
麗澤大学	3	鬼柳まい			
川村学園女子大学	2	上利夏紀			
3.提案するアイデアのタイトル					
手賀沼から未来に生きる者たちへ					
4.提案の理由					
【地域の現状・課題，地域の隠れた魅力，新たな発想など】 少子高齢化に伴い人口減少社会である我孫子市の現状に歯止めをかけるため、まず若者や子育てをしている世代の方に我孫子を知ってもらうきっかけを作りたい。手賀沼を一番の観光資源と考え、そこから我孫子の魅力を知ってもらいたい。					
5.提案の概要					
① 我孫子の魅力を手賀沼にてプロジェクションマッピングなどの映像演出を施し伝える。我孫子にゆかりのある内容をストーリー形式にして、演出する。期間限定でイルミネーションを施し、我孫子に若者や家族連れを呼び込む。 ② 子供が楽しめるような体験型のアウトドアスポーツやイベントを手賀沼にて行う。主に家族連れで訪れるよう休日に定期的に開催する。スワンボートレースやウォーターボール、水の広場を使った新しい楽しみ方を提供。 ③ SNS やホームページによる新しい我孫子市の広告、宣伝方法の提案。					

6.提案する具体的な事業内容

【事業内容については，具体的に記載して下さい。】
※アイデアの実施・運営方法，地域との連携方法なども
①鳥目線で我孫子市の上空を飛び、俯瞰するイメージで白樺派の文化人や自然などを伝える内容にする。今回のテーマである＜未来像＞をイメージさせるように鳥が羽ばたくようにする。
②地元の活動団体などを誘致し、子供たちとの交流も兼ね運営してもらう。家族連れの大人をターゲットに手賀沼の広場を利用し、見本市なるものを催し、企業や活動団体などに参加してもらい、今後の我孫子市での事業展開を促す。

7.期待される効果（目標）

【事業の実施によりどのような効果が期待されるか？】
手賀沼の新しい活用方法などをアピールすることで我孫子市全体のイメージアップに繋げる。若者向けのイベントを開催することで、市を若い力で活性化される。また、子供向けの施策も打ち出し、その親にも我孫子市に訪れてもらい、我孫子市の魅力を肌で感じてもらう。

8.アイデアを作成にあたって，どのような地域調査やヒアリングを行い，どのようなアドバイスを貰いましたか？

・フィールドワークにて、手賀沼周辺を散策した。
・我孫子市役所を訪れ、我孫子市の施策や課題や地域調査などのデータを聞かせていただいた。

9.その他，ＰＲしたい事などを自由に記載して下さい。

・湖北地区や東我孫子市の方面へ道の駅を作り、地産地消をアピールしたい。
・桜並木

我孫子市を知ろう!!

人口：133,351人
（H26.10.1現在）

アピールポイント

①豊かな自然
②文化的歴史
③安全なまち、子育てしやすいまち

我孫子市の課題

●少子高齢化・人口減少社会
・高齢化率　26.1%
※東葛6市で最下位
・合計特殊出生率　1.27人

若者や子育てをしている世代の方に我孫子に訪れてもらうきっかけ作り!!

若者の声 ※我孫子東学生

・若者が少ない
・遊び場所が少ない
※商業施設、大きい公園

・自然豊か
・歴史を間近に感じた

手賀沼でのイベント開催

イベント提案概要

場所：手賀沼公園、手賀沼親水広場

対象：若者や家族連れ

内容：①プロジェクションマッピング
②参加型・体験型のアウトドアスポーツ

東京駅のプロジェクションマッピング

ウォーターボール

～プロジェクションマッピング～

期間限定イベント

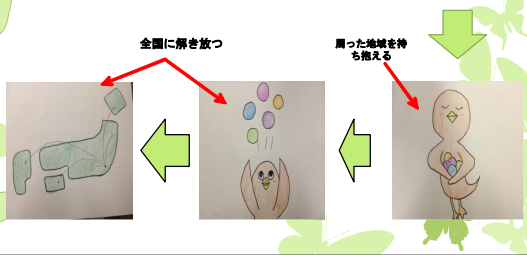
場所：手賀沼親水広場　水の館外観

ここらに投影!!

～内容～
ストーリー形式で進む。今回のテーマである＜未来像＞をイメージさせるよう鳥が我孫子市内を羽ばたくように演出する。

～ストーリー簡略図～

我孫子駅周辺 → 白樺派の文化人 → 東側地域



～参加型・体験型のアウトドアスポーツ～

定期イベント

場所：手賀沼公園周辺

広場　→　見本市

手賀沼　→　スワンボートレース
ウォーターボール

～運営～
地元の活動団体や企業を誘致して、子供たちとの交流も兼ね運営してもらう。

今後の事業展開!!

イベント開催でのメリット

●手賀沼の新しい活用方法を存分にアピールすることで、我孫子市全体のイメージアップに繋がる。

●若者向けのイベントを開催することで、我孫子市に若い世代に足を運んでもらい知ってもらえるきっかけが生まれる。

●子供向けの施策も打ち出し、その親にも我孫子市の魅力を肌で感じとってもらい今後の居住地の検討をしてもらう。

ご静聴ありがとうございました

◆我孫子市コース

川村学園女子大学　西岡　祥文　先生

一言でいうと，シンプル　イズ　ベストだった。提案がわずか２点でとても簡略でわかりやすかった。

１つ目のプロジェクションマッピングは，中間報告会ではイルミネーションだったが，よりロマンチックな形で集客を図ることが大切だということになった。ラスベガスでも集客が増えた事例があり，利用することは有効だと思う。

参加型スポーツとして，ウォータースポーツに目を付けたのは良かった。安全性を考えたレースも良かった。

補足すると，嘉納治五郎のゆかりの地であるため，東京オリンピックを見据えて，柔道大会を開催，外国人も参加すると盛り上がると思う。

子ども，若者を巻き込んだ案も考えられる。実現性は，非常にあるため評価したい。

中央学院大学　　望月　敏江　先生

学生が実直に，現地に行って調査をする姿勢を評価してほしい。

ここまで学生がまとめられたのは，我孫子市の実情を最初に報告していただいたためであるため，関係者に感謝したい。

≪我孫子市コース発表風景≫

7　全体講評

中央学院大学　望月　敏江　先生

先ほどの解説でお話させていただいたので，一言だけお伝えしたい。中央学院大学は男子学生が多い大学であるため，女子学生が参加できるように，19時からの勉強会ではなく，日中活動できるように市の協力をお願いしたいと思う。その点が改善されたら，少ない女子学生を参加してもらえるように働きかけたいと思うので，よろしくお願いしたい。

東京大学　スティーヴェン　クレイネス　先生

東葛の未来像として，コミュニティがキーワードに上がってきたことは発表会の一つの結果である。また，行政は英語でいうとinstitutionであり，意味は動かないものである。行政は元々，絶対に動かない，安定した規制・基盤を作っている。

近年は，ネット社会，スマートフォン普及で社会の変わる速度が早いため，矛盾が起きている。今後は，委託，アウトソーシングを進め，利害関係者の意見を取り込んでいくべきである。この研究発表会は学生の意見を取り入れており，動いている社会で動けない行政を解決するものとして大変ありがたいことである。

日本橋学館大学　佐々木　さよ　先生

実現可能性は，今までより高いものが増えてきつつあると感じた。以前は学生の熱気は感じたが，実現にこぎつけるのは大変だった。今回は行政の協力で出来そうだと思うものがあった。過去の成果を踏まえた研究もあり，積み重ねでレベルアップしてると感じた。回を重ねて参加している人が増えていき，先輩から後輩に大学を越えてつながっていると感じた。

また今回は，海外と地元の地域の両方の視点を持っているとも感じた。世代を超えての提案も良く，発表の仕方も斬新であった。1泊2日の方法を取らなかったため，実際やってみることができたのは，短期集中型でないことによる大きな成果である。

聖徳大学　眞壁　哲夫　先生

今，アベノミクスで地方創生といわれているが，学生ワークショップはそれ以前に始まっており，先見性のある事業であった。毎回参加するにつれて，着実に学生の力が上がっていると思う。

これまでは１泊２日だったが，今回から長期間になり，実際問題として試験等があって大変になると思っていたが，今回の発表を聞いて，１泊２日では得られない深みのある発表だった。じっくり練ることは大事だと感じた。学生らしいキーとなるコンセプトとして，我々が使いこなせないようなアプリの発想もあり，学生らしい提案だった。他に絆というものもあったと思う。また，イベントだけではない，柏市コースの提案もあり，今までにない進歩だと思った。

そういう意味で，成果のあった学生ワークショップであったと思う。来場の皆さんも参考にしてほしいと思う。皆様お疲れ様でした。

8　表彰

◆最優秀賞

学生の提案については，学生らしいアイデア，アイデアの地域貢献性，アイデアの実現可能性の審査基準を踏まえ，指導教授・アドバイザー・自治体・一般観覧者，学生の投票により審査を行い，最優秀賞を決定しました。

【投票結果】

最優秀賞：柏市コース

・学生らしいアイデア
　柏市コース

・アイデアの地域貢献性
　流山市コース

・アイデアの実現可能性
　柏市コース

大学	学年	氏名
江戸川大学	４年	佐藤　創さん
日本橋学館大学	４年	内田　涼太さん
聖徳大学	２年	佐藤　晴菜さん
中央学院大学	２年	橋爪　智勇さん
東洋学園大学	２年	河村　茉実さん
日本橋学館大学	１年	塔本　夏帆さん

最優秀賞受賞者（柏市コース）

◆学生部会功労賞

学生部会に２年以上連続で参加した学生に対して表彰されました。

３年連続表彰

江戸川大学　メディアコミュニケーション学部　４年　佐藤創さん

日本橋学館大学　リベラルアーツ学部　４年　内田涼太さん

２年連続表彰

江戸川大学　メディアコミュニケーション学部　３年　木村駿之介さん

聖徳大学　人文学部３年　遠藤広菜さん

東洋学園大学　現代経営学部　３年　長谷川慶太さん

最優秀賞受賞者の皆さん

功労賞受賞者の皆さん

９　まとめ

柏市石黒博副市長

お忙しい中，第５回学生ワークショップ研究発表会にご参加いただきありがとうございました。学生の皆さん大変お疲れさまでした。

先生方の講評にもあったように，学生さんのプレゼン，研究成果は年々素晴らしくなっています。我々も秋山市長より行政の職員はもっとわかりやすく市民に説明しなさいといつも言われていますが，そういう面では我々も参考にしなければいけないレベルになっていると思います。学生さんは今後，色々なところで頑張っていただきたいです。

本日は市民の方も参加されているので，大学コンソーシアム東葛を組織して学生さんに入っていただいている意味について説明したいと思います。行政は色々な課題を抱えていますが，解決するには行政だけでは不十分です。その中で，今までも市民や色々な方に御協力いただいていますが，大学は地域にとって非常に貴重な資源だと考えています。知的な資産も持っていて，学生さんも沢山いらっしゃいます。そういう方と協力して地域の課題に繋げていきたいと思います。学生さんが地域と一緒になって行うことは，大学にとっても，また学生さんの将来にとっても非常にいい経験になります。win-win の関係を作りたいと思っています。東葛の行政と大学が一緒になってこういった取り組みを進めており，大学と地域が一緒になって地域のために頑張っていきたいと思いますので，これからも御支援をお願いします。

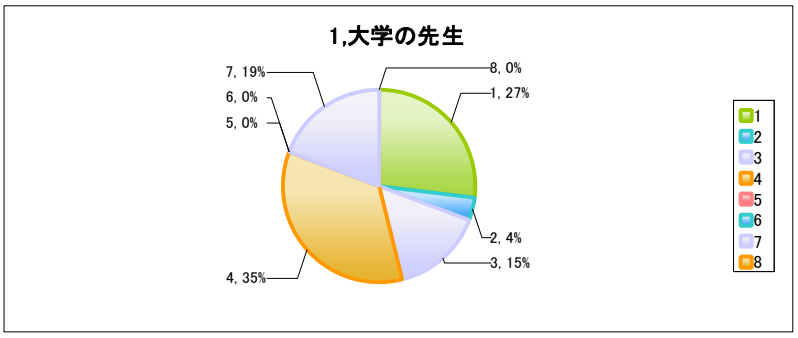
開催にあたりまして，川並学長はじめ聖徳大学の関係者の皆様には大変お世話になりました。改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。皆様のこれからのご活躍と大学コンソーシアム東葛への御協力をお願いして，御礼の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

10　ふりかえりシート集計結果

問１．今回のワークショップをどのようにして知りましたか。

■学生用

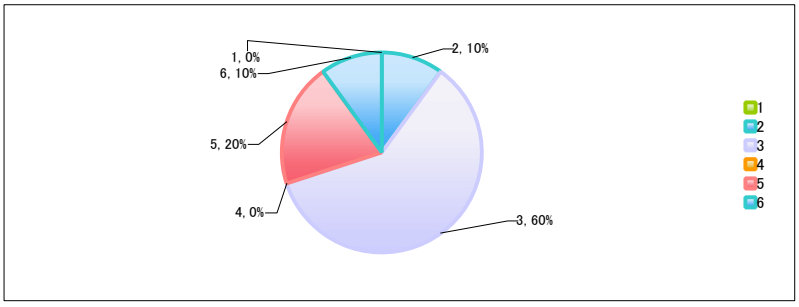
1,大学の先生	2,大学の事務局	3,大学のメール・掲示板	4,大学の友人・先輩・後輩	5,参加募集チラシ	6,自治体等のホームページ	7,学生部会	8,その他
7	1	4	9	0	0	5	0



■一般観覧者用

1,大学のホームページ	2,自治体のホームページ	3,大学関係者の紹介	4,自治体関係者の紹介	5,学生部会学生の紹介	6,その他
0	1	6	0	2	1

その他：Facebook

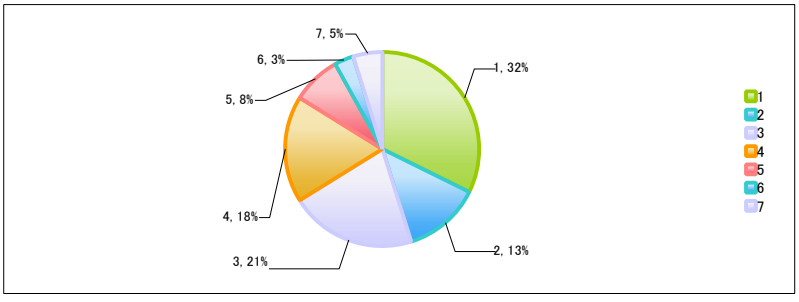


問２．今回の参加動機をお聞かせください。

■学生用

1,他大学生との交流	2,関係者（教授・自治体など）との交流	3,企画・プレゼン等の経験をするため	4,グループワークや意見交換をとおし感性や知識を深めるため	5,地域活性化や街づくりに興味があった	6,学生ワークショップに興味があった	7,その他
20	8	13	11	5	2	3

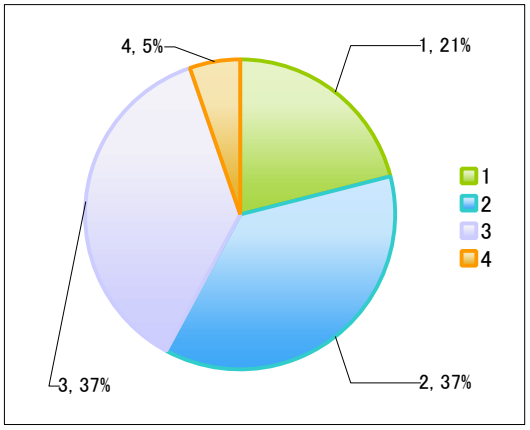
その他：去年からの続き，就職活動に活かすため



■一般観覧者用

1.学生ワークショップに興味があった	2.大学生が考える地域活性化や街づくりに興味があった	3.大学生，大学，自治体の取り組みに興味があった	4.その他
4	7	7	1

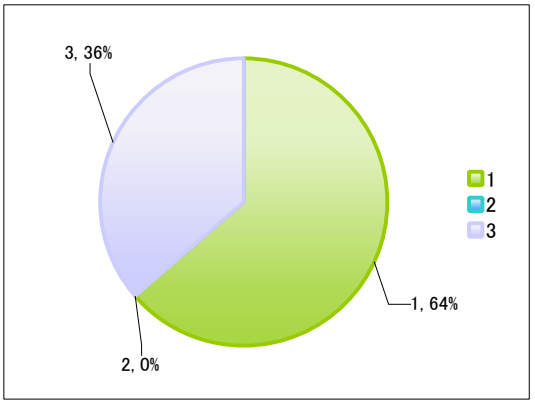
その他：学生のプレゼンテーションスキルと説明力が見たかった



問３．大学コンソーシアム東葛学生部会の活動をご存知でしたか。

■一般観覧者用

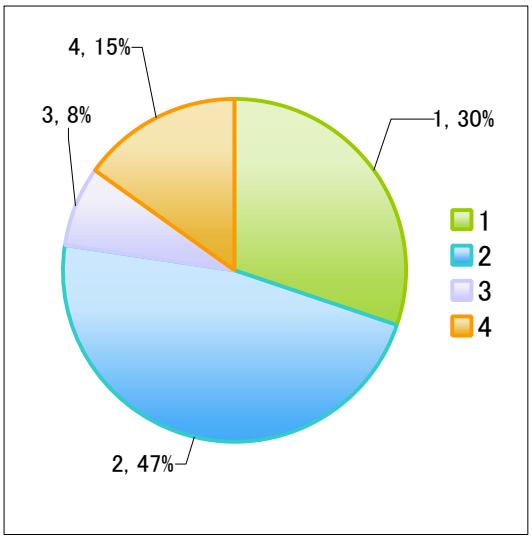
1.以前から知っていた。	2.学生ワークショップをとおして知っていた。	3.知らなかった。
7	0	4



問４．今回のテーマ「東葛地域の未来像を考えよう！！」の感想をお聞かせください。

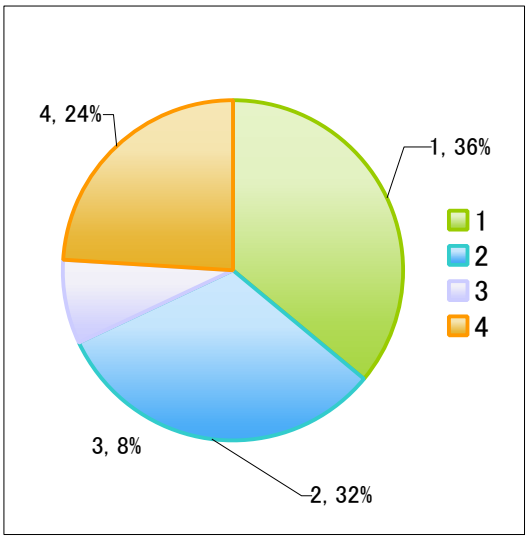
■全体

1.非常に良い	2.良い	3.普通	4.難しい
16	25	4	8



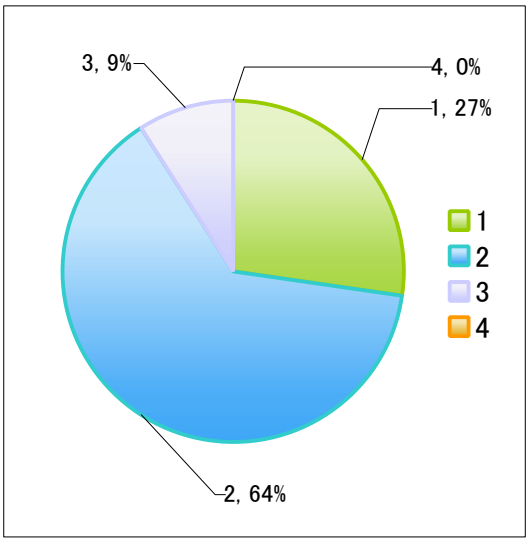
■学生用

1.非常に良い	2.良い	3.普通	4.難しい
9	8	2	6



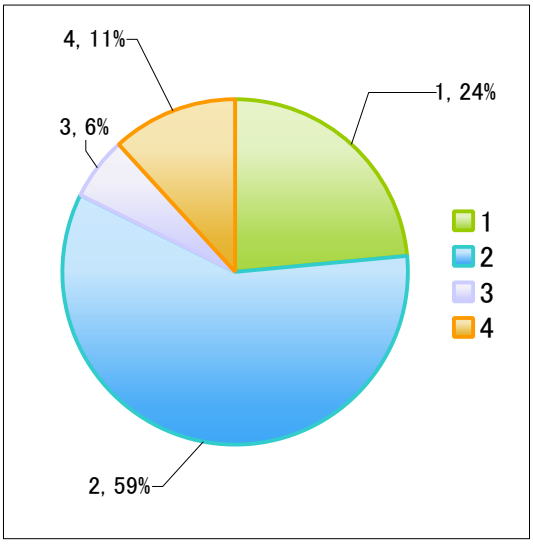
■一般観覧者用

1.非常に良い	2.良い	3.普通	4.難しい
3	7	1	0



■関係者用

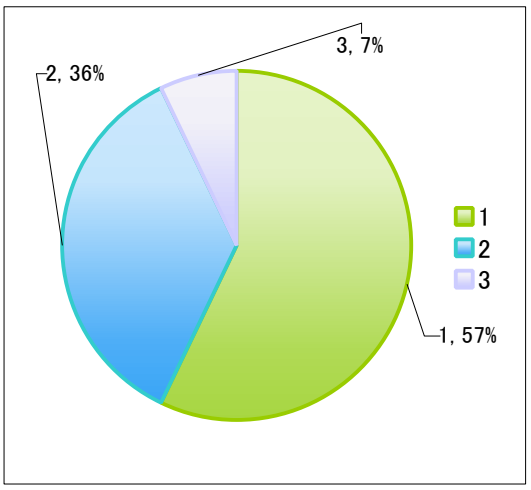
1.非常に良い	2.良い	3.普通	4.難しい
4	10	1	2



問５．今回の開催時期の感想をお聞かせください。

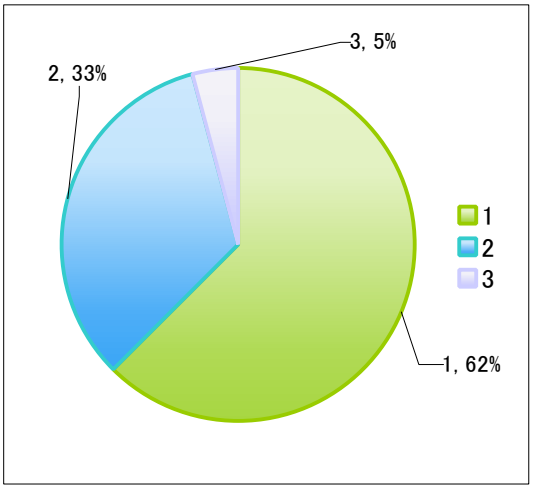
■全体

1.ちょうど良い	2.もっと早い時期が良い	3.もっと遅い時期が良い
24	15	3



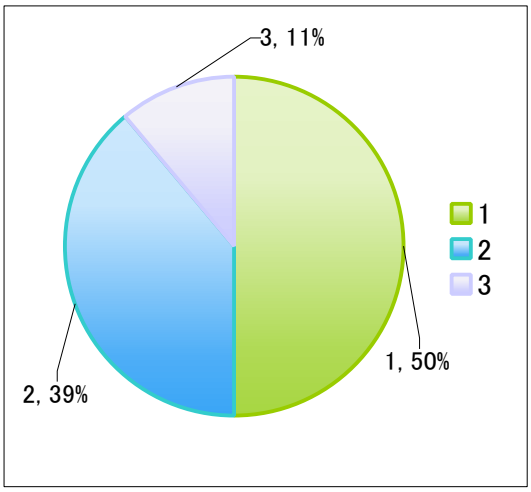
■学生用

1.ちょうど良い	2.もっと早い時期が良い	3.もっと遅い時期が良い
15	8	1



■関係者用

1,ちょうど良い	2,もっと早い時期が良い	3,もっと遅い時期が良い
9	7	2



問６．問５で「もっと早い時期・もっと遅い時期が良い」と答えた方にお伺いします。
いつ頃の開催を希望しますか。

■もっと早い時期が良い

時期	人数	理由
5月	3	・テストや講義などでスケジュールがうまく合わなかったから ・夏休みが間にあった方が時間をかけられて良い。
5月～10月	1	・新メンバー勧誘，仲間作りに2ヶ月，夏合宿でテーマ設定とチーム編成，9,10月でまとめて発表だと卒論や試験に重ならなくなる。
6月	1	・学生同士のコミュニケーションが不足していると感じたため ・学生が授業のリズムがつく頃ですし，寒い時期ですから終了も年内で済ませてほしいです。
8月	1	・期間が短かった
夏	1	・夏休みのような時間をつくれる期間が良い
10月	1	・２～３月は期末で忙しいそう。
11月下旬	2	・夏休み前に参加者を募集 ・大学の学年層・試験などを考慮しますと，この頃がベターかと思います。
12月	2	・年をまたぐのは長いと思います。 ・テスト期間をさけるため
その他	2	・この時期だと試験と被り余裕がなくなってしまうため。 ・学生が試験期間にあたってしまい，事前学習型であると時期をずらした方が良い

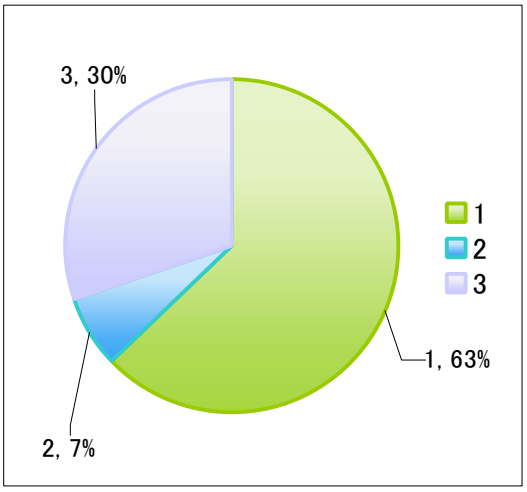
■もっと遅い時期が良い

時期	人数	理由
2月下旬	1	・テスト明けから発表までの時間がない
3月	1	・春休みで学生の時間がとれる。 ・集中的に開催できるため

問７．今回の開催スケジュールの感想をお聞かせください。

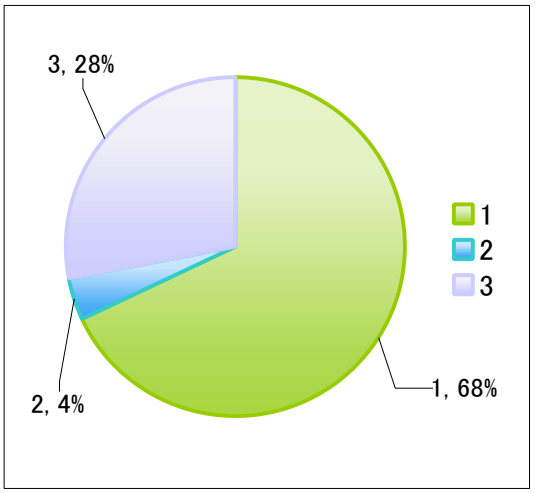
■全体

1,ちょうど良い	2,もっと長い方が良い	3,もっと短い方が良い
27	3	13



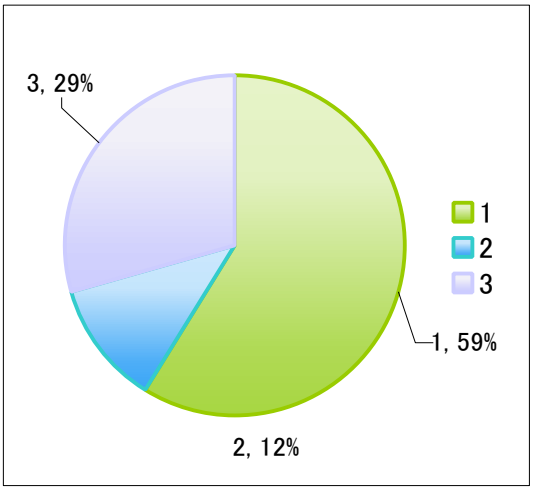
■学生用

1,ちょうど良い	2,もっと長い方が良い	3,もっと短い方が良い
17	1	7



■関係者用

1,ちょうど良い	2,もっと長い方が良い	3,もっと短い方が良い
10	2	5



問８．問７で「もっと長い・短い方が良い」と答えた方にお伺いします。

■もっと長い方が良い

期間	人数	理由
その他	2	・5月頃に，第1回目の会合を開催 ・10ヶ月：学生同士でいいので早い時期に知り合いになって欲しい

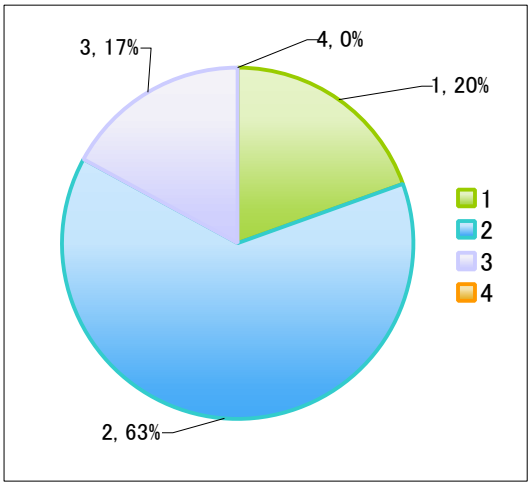
■もっと短い方が良い

期間	人数	理由
1日/ヶ月	1	・長期よりも短期間で集中して行った方が良いと思う。
2日/ヶ月	3	・チーム同士で集まる機会などに恵まれず，短期集中の方が良いと感じたため ・長すぎても。 ・集まりにくい。
3日	1	
5日か3ヶ月	1	
2ヶ月	1	・期間が長くても，皆さんの都合が合わないと思います。 ・期間が長すぎると，中だるみしてしまうという点から，少し短くした方が良い。
3ヶ月	1	・年内に終えるように，集合が難しい
2,3日/ヶ月	1	
その他	2	・短時間での開催 ・できれば，夏休み時期とかゆっくり時間がとれます：短時間での開催を希望いたします。

問９．説明会・勉強会・中間報告会の感想をお聞かせください。

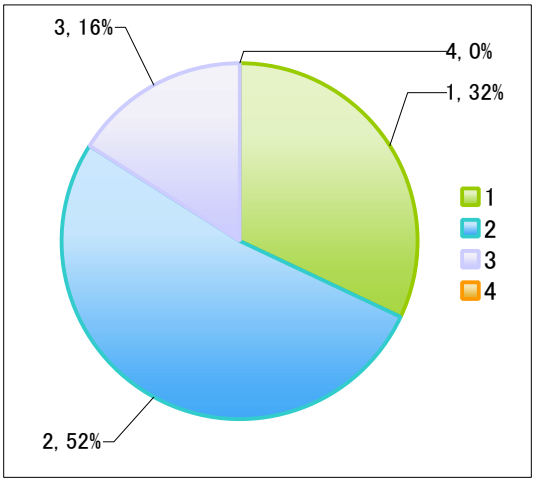
■全体

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
8	26	7	0



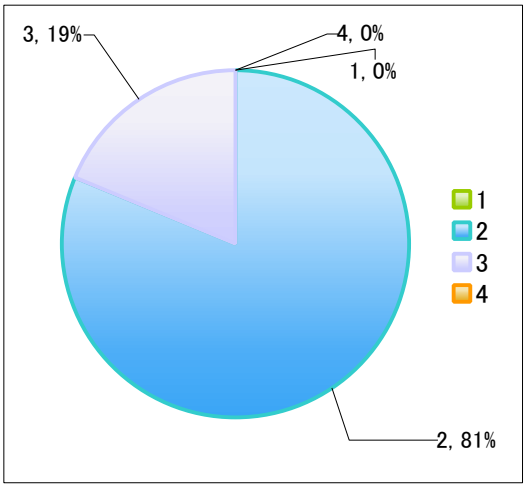
■学生用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
8	13	4	0



■関係者用

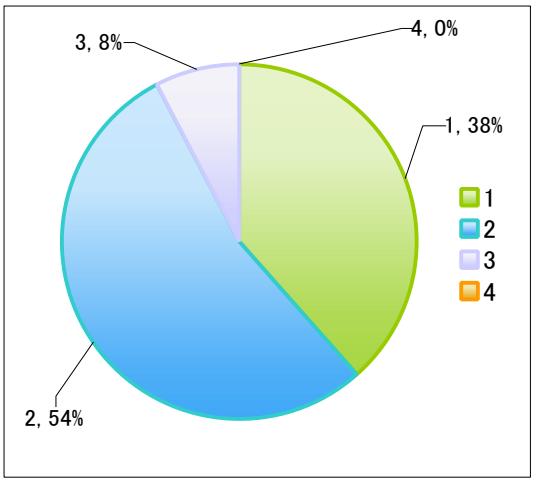
1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
0	13	3	0



問10. 研究発表会の感想をお聞かせください。

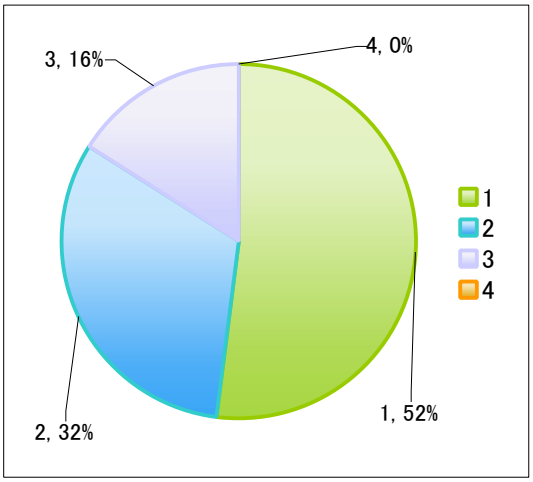
■全体

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
20	28	4	0



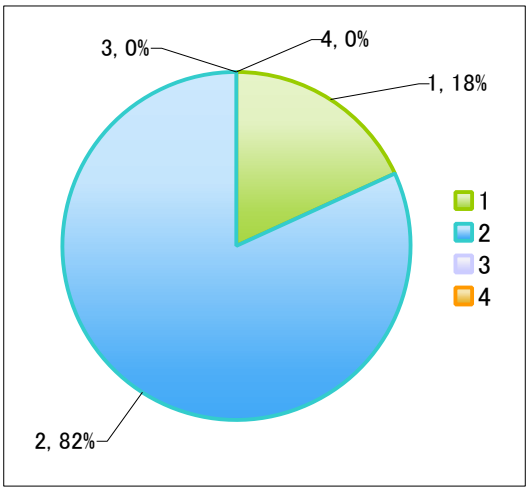
■学生用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
13	8	4	0



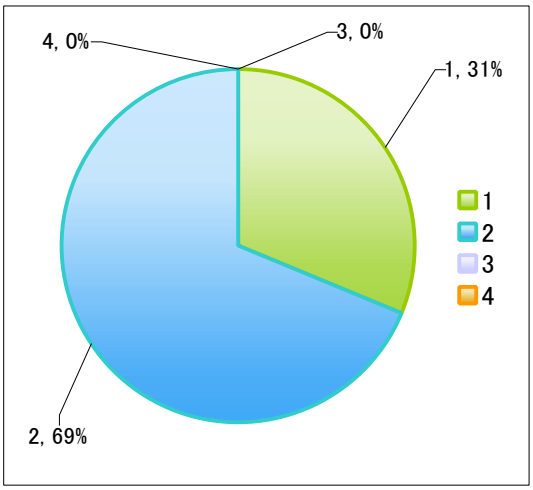
■一般観覧者用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
2	9	0	0



■関係者用

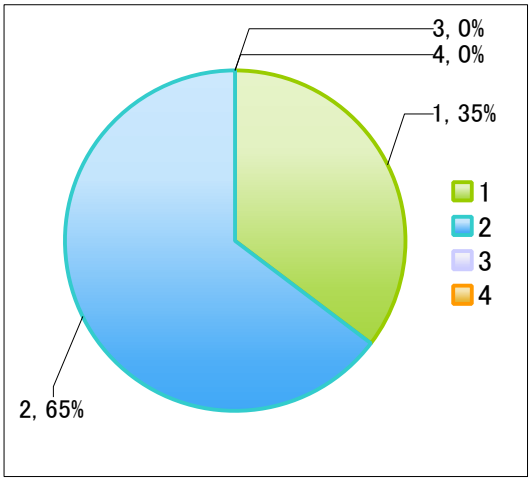
1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
5	11	0	0



問11．今回の学生ワークショップはいかがでしたか。

■関係者用

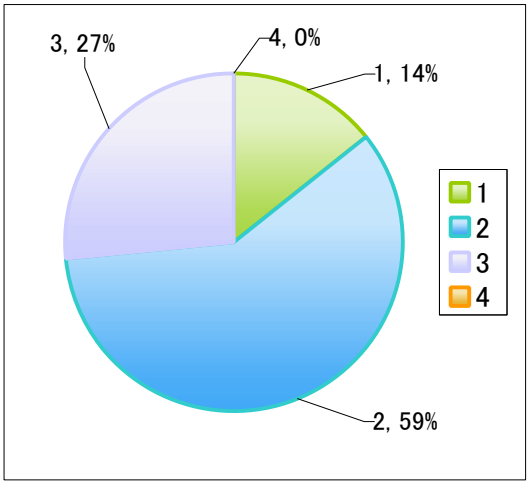
1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,難しい
6	11	0	0



問１２．松戸市の感想
問１２－１．学生らしいアイデア：斬新な，驚かされた，面白いアイデアか！？

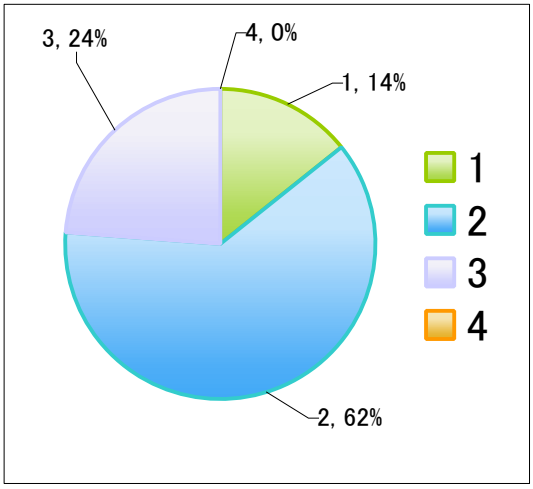
■全体

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
7	29	13	0



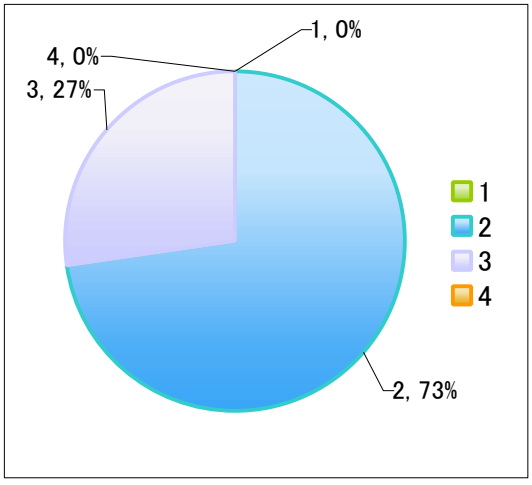
■学生用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
3	13	5	0



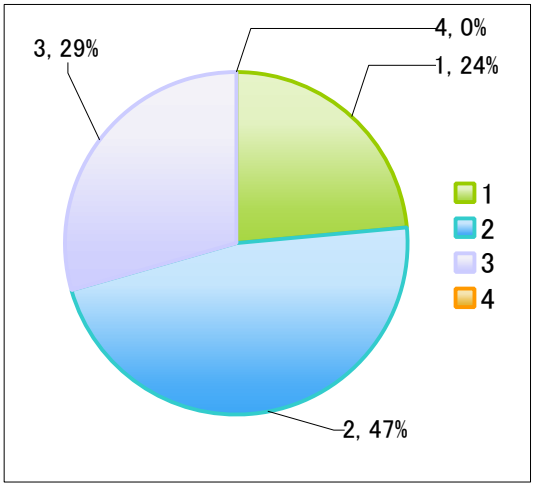
■一般観覧者用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
0	8	3	0



■関係者用

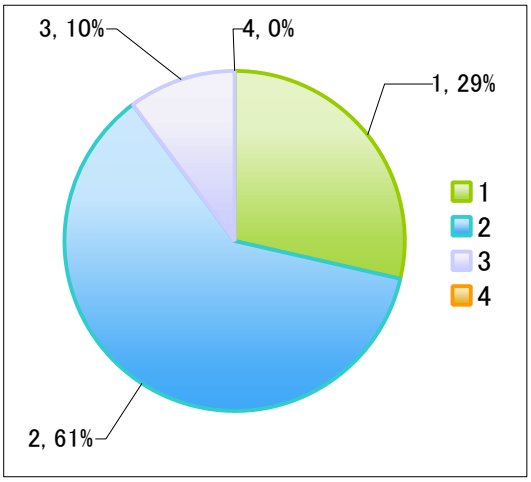
1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
4	8	5	0



問１２－２．アイデアの地域貢献性：地域の課題や特色等を活かしたアイデアか！？

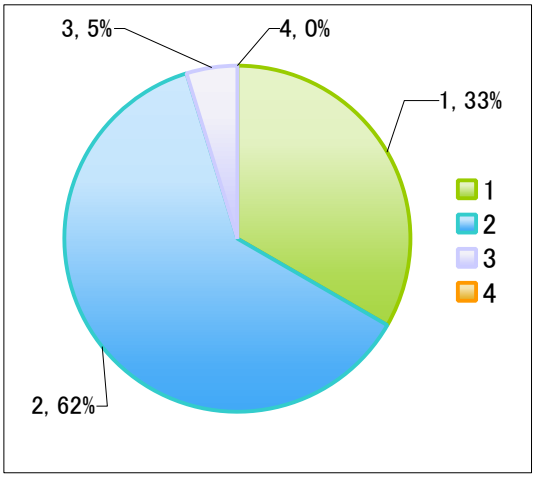
■全体

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
14	30	5	0



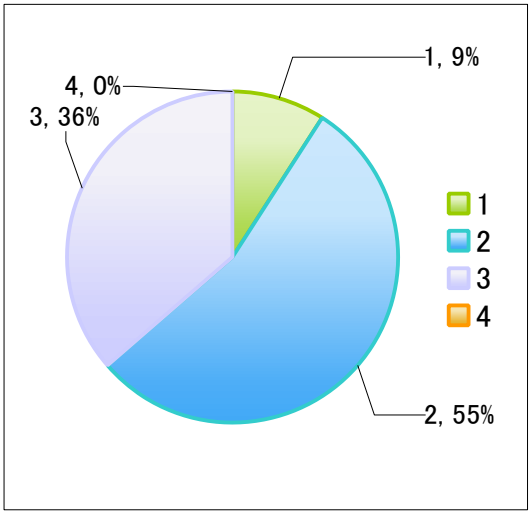
■学生用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
7	13	1	0



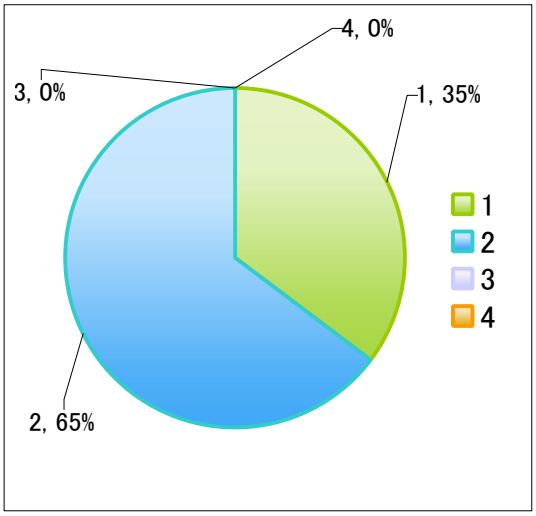
■一般観覧者用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
1	6	4	0



■関係者用

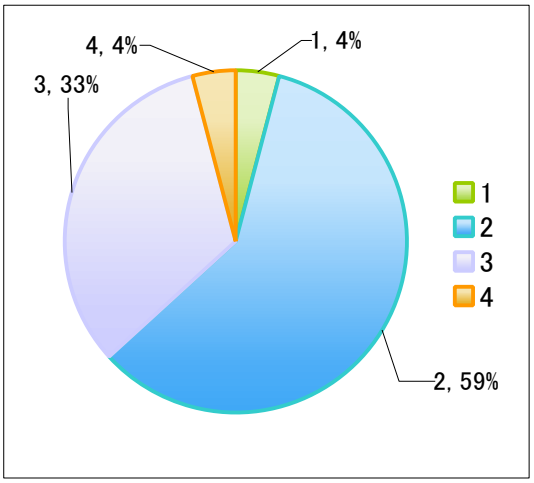
1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
6	11	0	0



問１２－３．アイデアの実現可能性：実際に地域で実現できるアイデアか！？

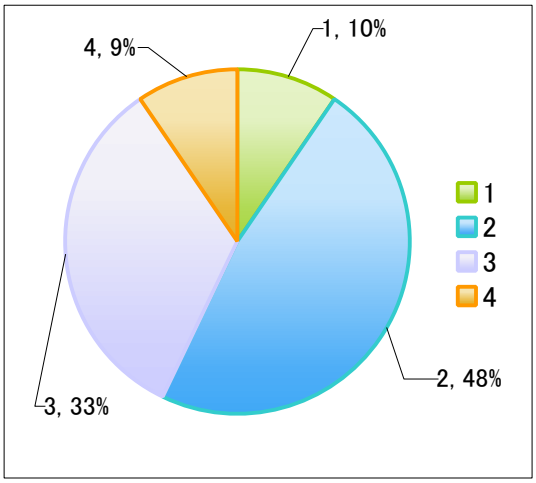
■全体

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
2	29	16	2



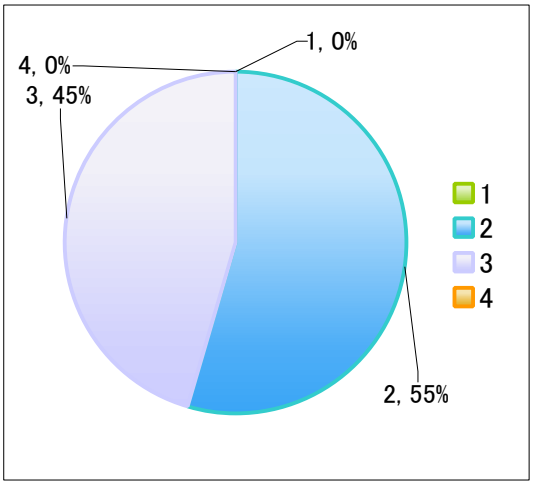
■学生用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
2	10	7	2



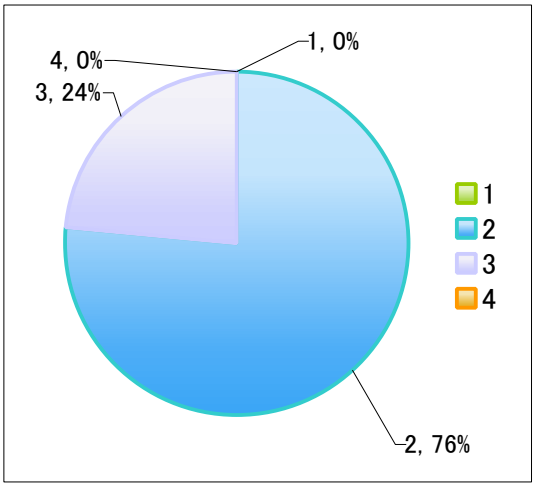
■一般観覧者用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
0	6	5	0



■関係者用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
0	13	4	0



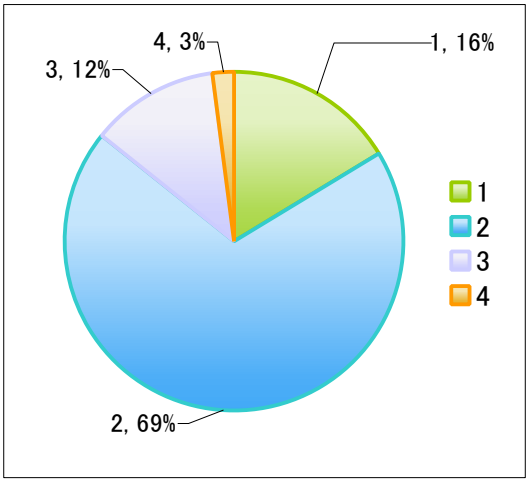
問１２－４．松戸市コースの感想を一言お聞かせください。

1	東京オリンピックを視野に入れたグローバルな発表だった。
2	多くの分野に視点を向けていて，関連性を持っていて良かったと思う。
3	まとまった良い内容だった。
4	国際ということを視野にいれててすごいと思います。
5	戸定邸に行きたくなりました。
6	提案が多すぎて，中身がわからなかった。でも，アイデアは良いと感じ
7	イベントに参加してみたいと思いました。
8	実現したら超おもしろそう。
9	地域の特色等を活かしたアイデアであったと思いました。
10	一人一人が簡潔にまとめられていまいた。
11	東京オリンピックに目を向けた政策がすばらしかった。
12	グローバリゼーションを強く見るにはよかった。
13	戸定邸に行ってみたくなりました。
14	アプリケーション等，役に立つのでとても良いアイデアだと思いました
15	グローバル視点から様々な事業展開がされていておもしろい。
16	少し抽象的で明確なビジョンが見えなかった。
17	外国人に一番目を向けていたいい発表。
18	素晴らしい。
19	実行させてみたい。
20	会場のアクセスについても見当して欲しかった。
21	コスプレの意見が斬新だと思った。
22	「グローバル化」の目的は何でしょうか。地域活性化？税収？また高齢者はipodのようメディアを本当に使えますか？ メニューは外国人が本当に望んでいる「ニッポン」だろうか？
23	東葛地域全体のことを考えている点はよかったが，具体性が弱い。
24	松戸の未来に対する確信を学生の発表から感じられました。
25	様々な視点で考えれられていることが大変良かった。
26	多彩な活動がどれも楽しそうでした。
27	地域理解力NO.1
28	実現の可能性は高いと思われる。異文化交流が目的？観光客の誘致が目的？両方？
29	いろいろな要素が混ざっていて，やや焦点が見えにくかった。
30	「ポップカルチャー」というキーワードに対応する具体性がもう少し欲しかった。やや，総花的。まとまりが良かった。
31	オリンピック・パラリンピックに着眼した点は，面白いと思います。
32	オリンピックに目をつけた視点がよい。
33	コミュニケーションを多くとって楽しんで作ってもらえてたら良かったと思います。内容は，いくつか面白いものがあってとても参考になりました。
34	長い間お疲れ様でした。いただいたアイデアを活かせるよう頑張ります。
35	発表はまとまっていて良かった。３つのアイデアが連動すればなお良かった。
36	学生らしい発想で良かった。
37	外国人がわざわざ飛行機に乗ってやってくるだけの理由に，さらに怪談や着物もコスプレととらえることで，提案に力強さを感じました。

問１３．野田市の感想
問１３－１．学生らしいアイデア：斬新な，驚かされた，面白いアイデアか！？

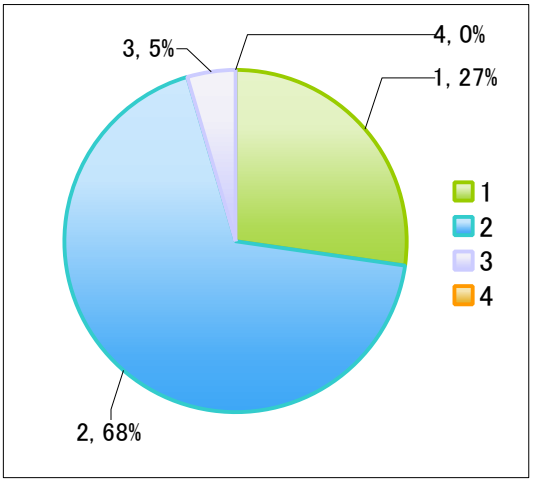
■全体

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
8	34	6	1



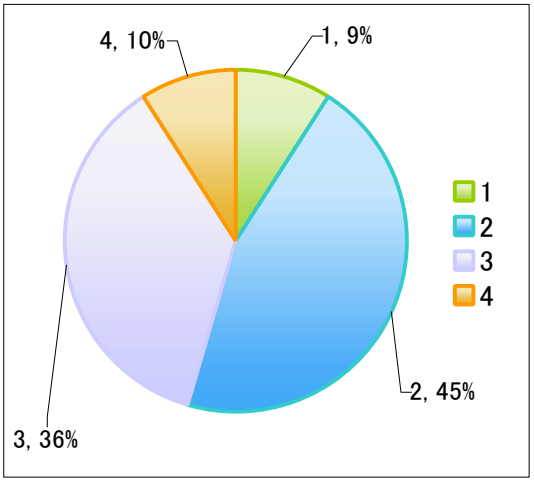
■学生用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
6	15	1	0



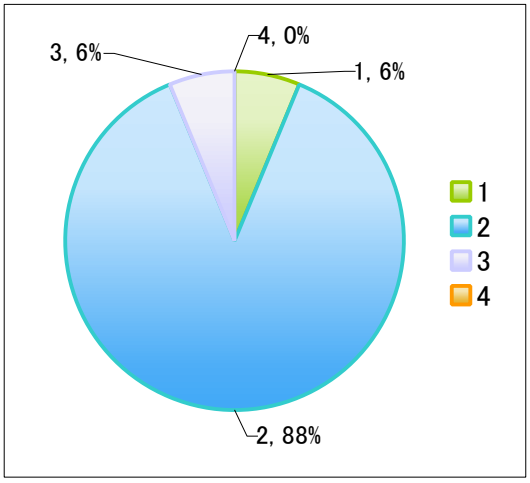
■一般観覧者用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
1	5	4	1



■関係者用

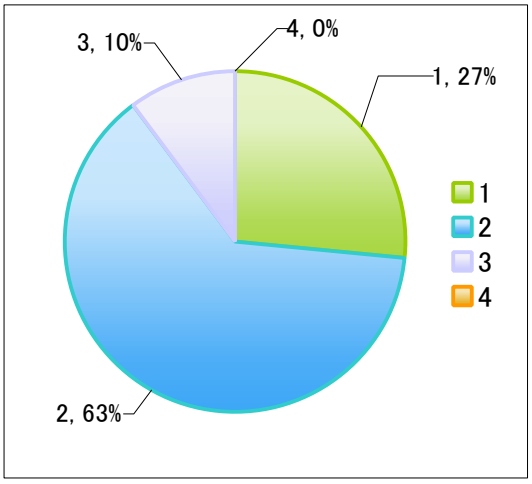
1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
1	14	1	0



問１３－２．アイデアの地域貢献性：地域の課題や特色等を活かしたアイデアか！？

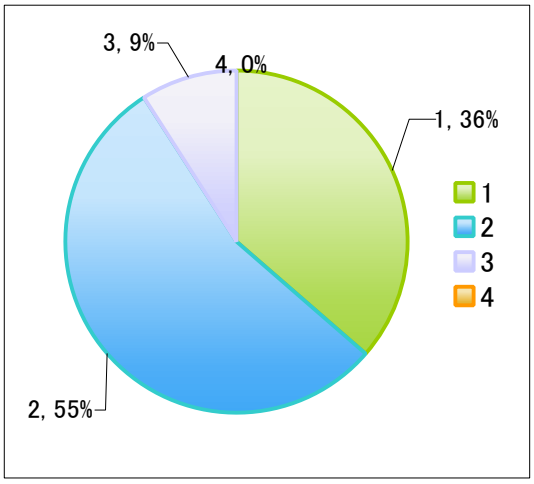
■全体

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
13	31	5	0



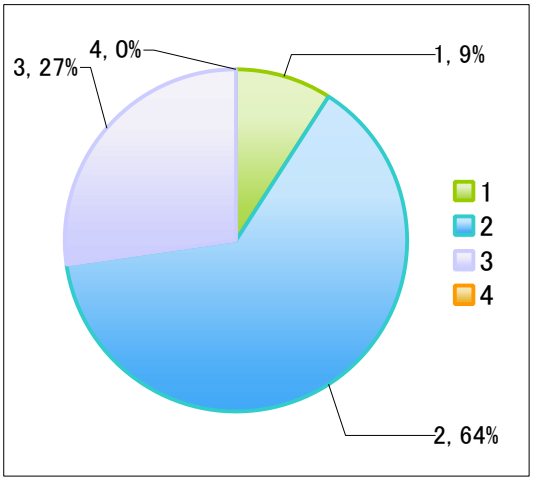
■学生用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
8	12	2	0



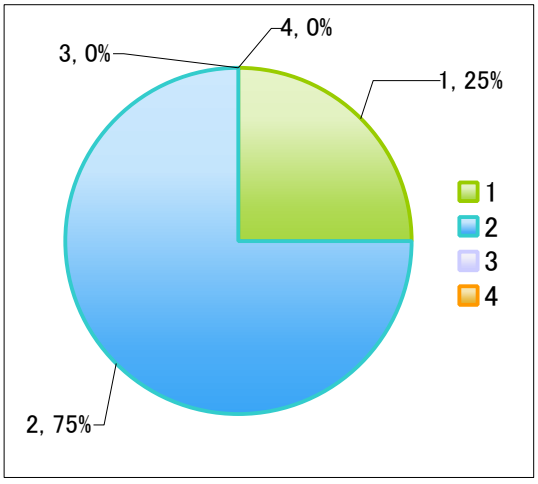
■一般観覧者用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
1	7	3	0



■関係者用

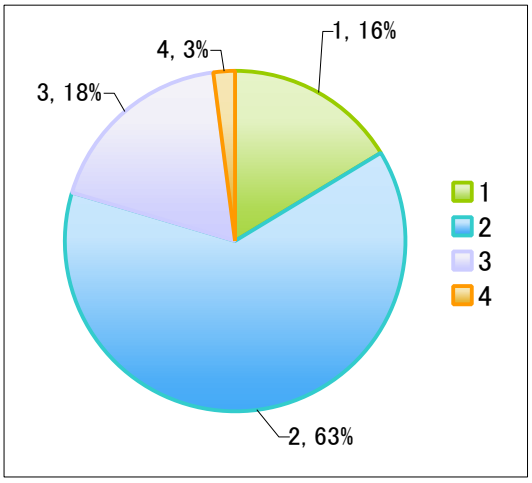
1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
4	12	0	0



問１３－３．アイデアの実現可能性：実際に地域で実現できるアイデアか！？

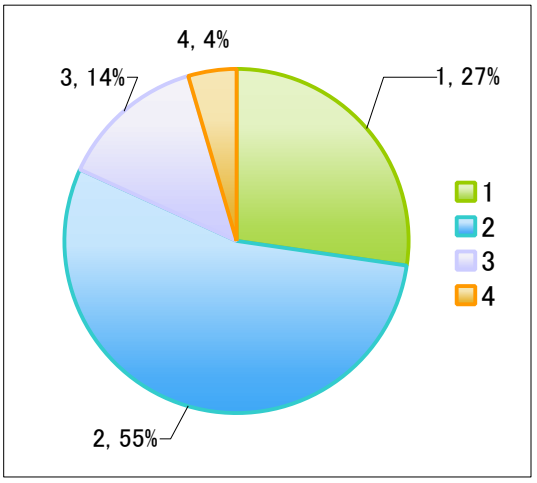
■全体

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
8	31	9	1



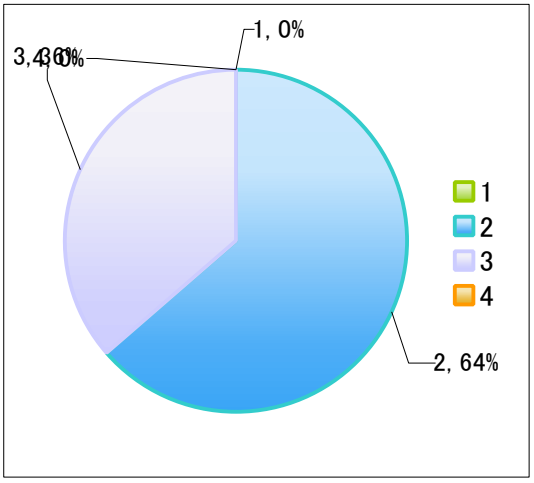
■学生用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
6	12	3	1



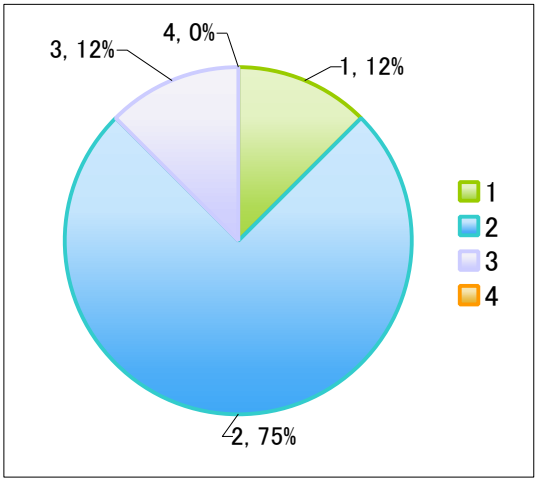
■一般観覧者用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
0	7	4	0



■関係者用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
2	12	2	0



問１３－４．野田市コースの感想を一言お聞かせください。

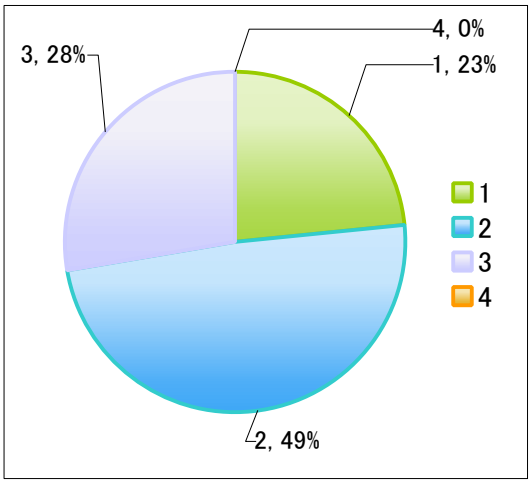
1	学生が多く参加でき，日時やプログラムなど細かく決めてあり，実現できそうだと思います。
2	名産品の醤油を使って地域を活性化させるというのはとても面白かった。
3	ネーミングの発想が良かった。
4	おもしろかったと思います。
5	すでに行われているイベントとの差異をつけられたら良くなる。
6	パワポがきれいでした。
7	もじりがおもしろい。
8	野田市の特色を活かしたアイデアで私も参加したいと思いました。
9	たくさんの物に目を向けていてideaがとても豊富だなと感心しました。
10	一つ一つに目を向けた「NODA」がおもしろかった。
11	NODAからとったイベントがいい。
12	イベントの手伝いとかなんらかの形で参加したいです。
13	アイデアはいいが，行政の支援なくしては成り立たないプランだと思った。
14	実現性が非常に高い，夢で終わらせていない。
15	東葛5市の未来像とどうつながるのか。
16	NODAの一文字一文字に意味があった。あれこそ学生らしいアイデアでは。
17	野田（NODA)をもじったイベントが面白い。
18	野田市の特色にあった発表だったと思います。
19	現実的で良い◎
20	どこまでできるかやらせてみたい。
21	地場産・枝豆ほしかった。
22	良く検討されていた。
23	最初にマイナスのイメージを言っていたような気がした。
24	資源を客観的に見つめれば松戸よりも野田のほうが外国人を呼べるのではないか。醤油や忍者は海外の方にも興味を持ってもらえるし，BBQスタイルも合う。しかし，それで外国人５０名の集客は少なすぎるのでは？外国人集客で大きな実績を持つ北海道の市区町村などから事例を学んでいくと，「外国人が訪れる街」に発展する可能性が見えてくるのではないでしょうか。 ちなみに，カクテルには醤油を使った「ブラック・サムライ」などというのもありますよ。
25	他にも公園でイベントがある中で，NODA博の強みを知りたい。忍者をもっと深くするのも良いかも。
26	フィールドワークやデータをしっかり押えて現実性が高いと感じました。
27	実際のタイムスケジュールや動員見込みまで出していて，提案として完璧でした。
28	分析がきちんと出来ていたと思います。
29	タイトルコールに音楽（BGM)が欲しかった。
30	実施時期や実施内容が具体的に出されているところが良い。
31	実際に学校や道場の協力が得られれば面白い。
32	人数が少ない中で，頑張っていた。具体的なデータが提示されていて良かった。
33	それぞれの企画は素晴らしいと思います。全体として大きな規模になったことが，難しくさせてしまうかも知れません。
34	農業PRの視点を取り入れたところが良かった。

35	よく作り込んであると感じました。実現可能性は高いと思います。
36	アイデアがまとまっていて分かりやすい内容でした。
37	忍者知らなかった。発表，現状把握，現実性を考えた発表で良かった。
38	実はNINGYAで通年提案ができると思います。そうした通年活動が年一のイベントの実りのあるかどうか成果につながると思いました。でも，着眼点はピカーでした。全国ニンジャ会議とかね。

問１４．流山市の感想
問１４－１．学生らしいアイデア：斬新な，驚かされた，面白いアイデアか！？

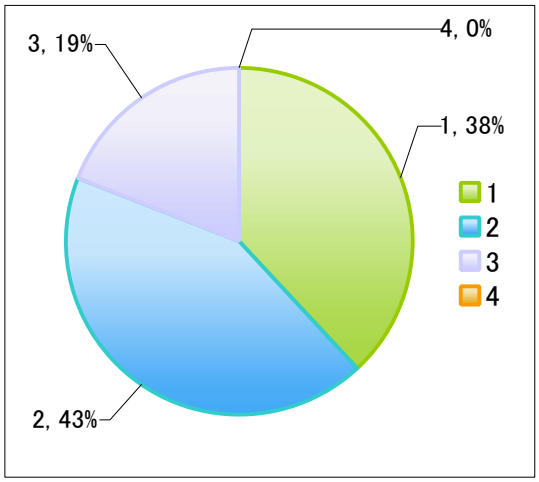
■全体

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
11	23	13	0



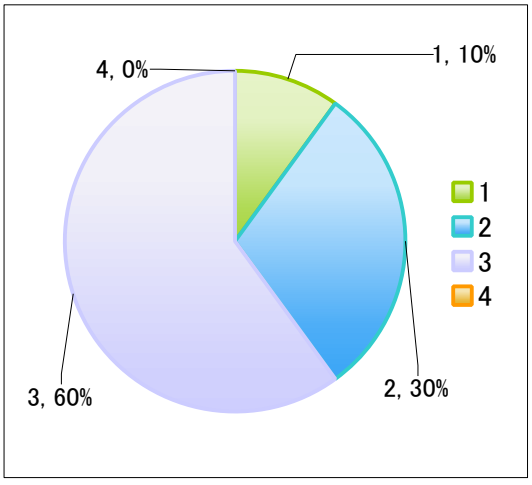
■学生用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
8	9	4	0



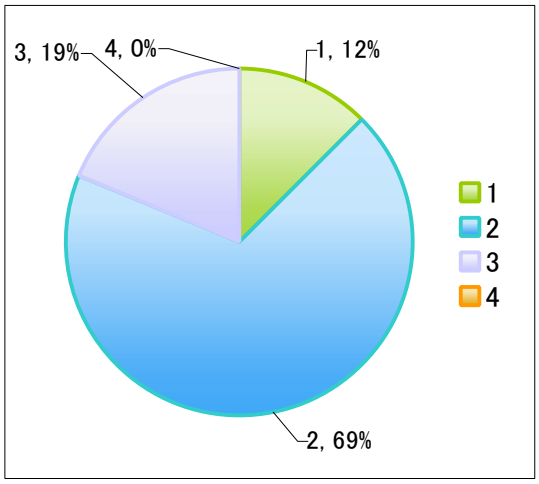
■一般観覧者用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
1	3	6	0



■関係者用

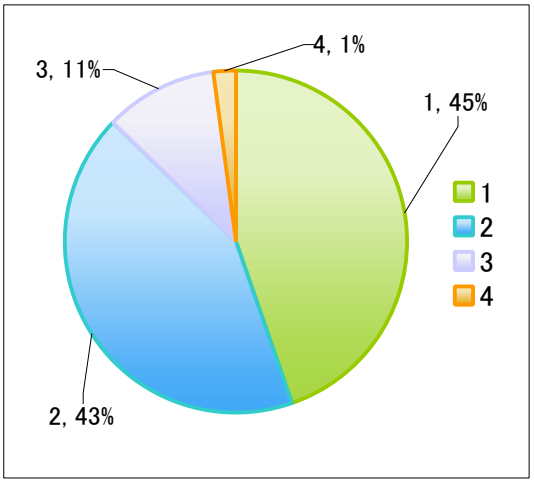
1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
2	11	3	0



問１４－２．アイデアの地域貢献性：地域の課題や特色等を活かしたアイデアか！？

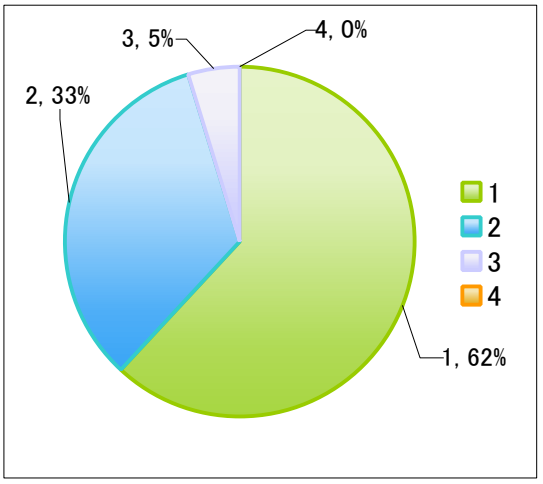
■全体

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
21	20	5	1



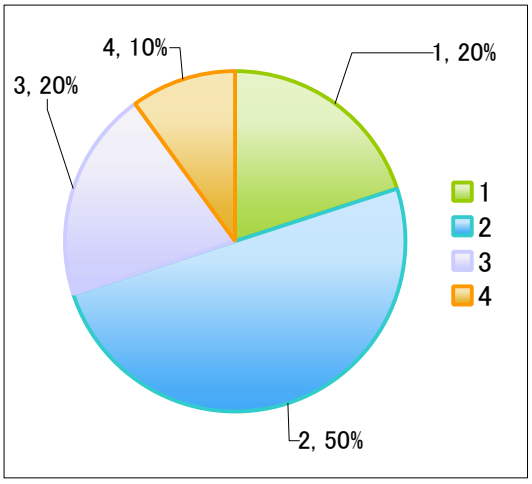
■学生用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
13	7	1	0



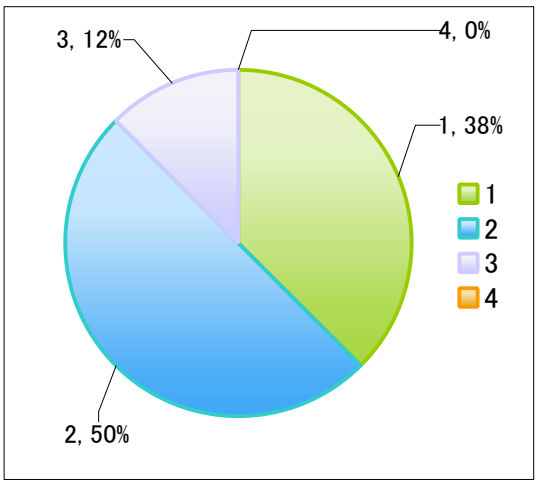
■一般観覧者用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
2	5	2	1



■関係者用

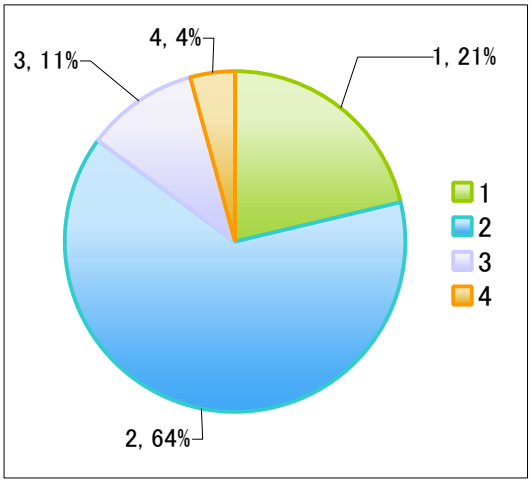
1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
6	8	2	0



問１４－３．アイデアの実現可能性：実際に地域で実現できるアイデアか！？

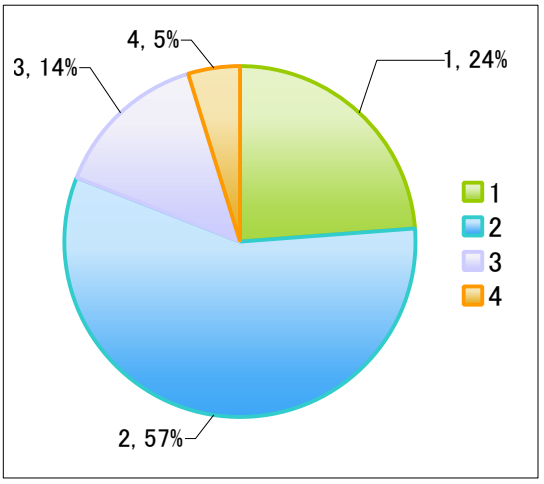
■全体

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
10	30	5	2



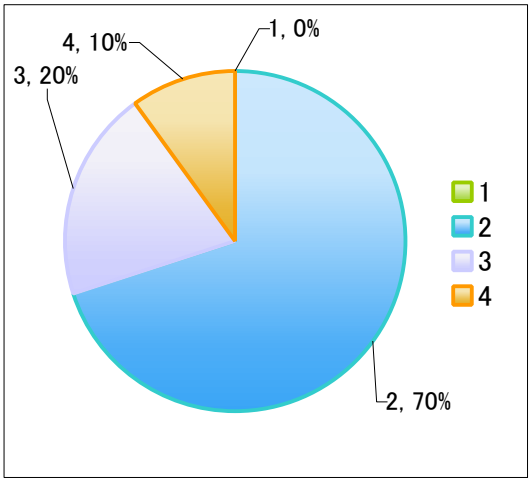
■学生用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
5	12	3	1



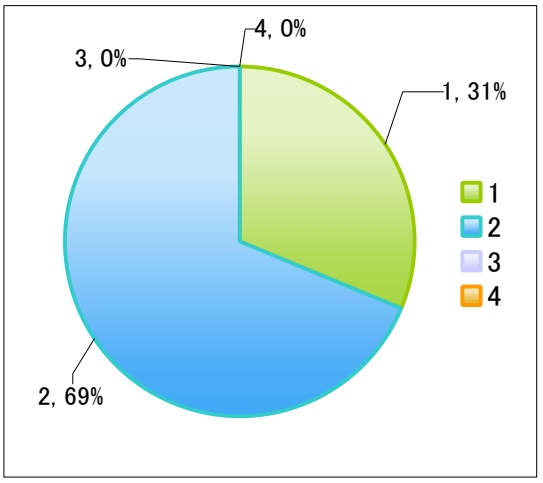
■一般観覧者用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
0	7	2	1



■関係者用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
5	11	0	0



問１４－４．流山市コースの感想を一言お聞かせください。

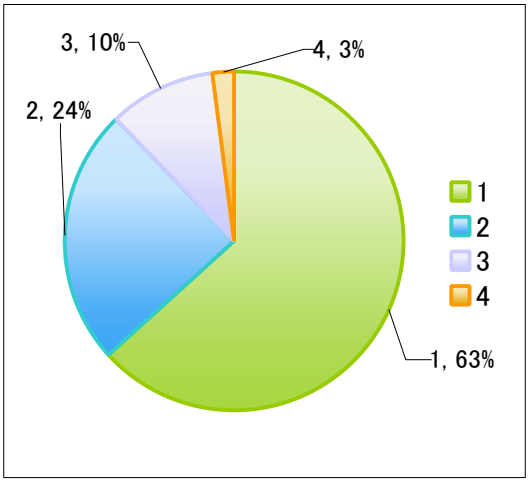
1	「You-NKOS」というアプリの具体的な説明が上手くできていた。
2	子育てに関して良くまとめてあったと思った。
3	発表の仕方がまとまりを意識してあった。
4	とても現実的だと思いました。
5	素直に良い企画だと思います。
6	イニシャルで呼びやすい名前をつけたのは良い。ターゲットもしぼられている。わかりやすい。
7	アプリのアイデアが良いと思いました。
8	アプリをどう作るのか。
9	無敵かな。
10	アプリの活用は，便利だと思うしとても参考になりました。
11	未来像に向けてシンプルなアイデアが良かった。
12	時代に合致したアイデアだと思った。
13	プレゼン力があった。
14	流山にはすでにアプリがある。
15	フィールドワークをたくさんしていると感じた。発表に活きていた。
16	具体的な数字があり，説得力があった。 これからの問題（社会）の解決策の一つとなっている。
17	アンケートの数字が使われていて具体的だったので良かったと思う。
18	もう少し入念な打ち合わせがあると良い。
19	面白いがもう一段の企画がほしい。
20	更に発展性が検討できるのではないか。
21	地域コミュニティについて，発表があったのが良かった。
22	まず，共働き比率21.5%は世代別にそうなのか？「情報を身近に」とあるが，おそらくアプリであっても紙媒体での広報誌より利用率は低くなるだろう。アプリがすでに溢れている現在，ヘビーユーザーは継続的に用いないし，それ以外の人はアプリそのものを使わない。また，SNSは管理が必須のため，運用コストが大きい。現状の流れの子育て支援を強化する路線でよいのでは，外部広報に力を入れるとか。
23	アンケートデータを用いている点は良かった。ただ，SNSなどのアプリは普通。もう少しインパクトが欲しい。
24	アンケート結果から，今後の行政情報発信がSNSに移行していくという予測の中で必要性を感じた。
25	今風の提案でよかったが，搭載する機能や情報がもう少し具現化されているとなお良かった。
26	アプリに絞った内容で良かった。学生がアプリを作るという意外性もあるが，不安な面も。
27	政策力NO.1
28	市の課題や目的に沿った具体的な内容になっていたことが良い。
29	実施に地方で子育てアプリを作った例や流山市で作ろうという動きもあり実現性は高い。
30	「新住民」対象のアプリだと思われるので「旧住民」も交えたコミュニティ創出機能が欲しい。
31	インターネットを利用してのコミュニティ作りは，実現可能性が高いと思います。
32	他市のイベントとは一線を引いており良かった。
33	アプリの機能の詳細や新規性が分からなかったです。

34	地域の特性を活かしたアイデアであったと思います。
35	アイデアは良かったが，何がメリットが伝わって来なかった。
36	このサービスを使いますと，ただ便利なだけでなく「こんな子供，こんな子育てができるんだ」という未来像まで提案できると面白かったなあと思います。ぜひ実現させてください。

問１５．柏市の感想
問１５－１．学生らしいアイデア：斬新な，驚かされた，面白いアイデアか！？

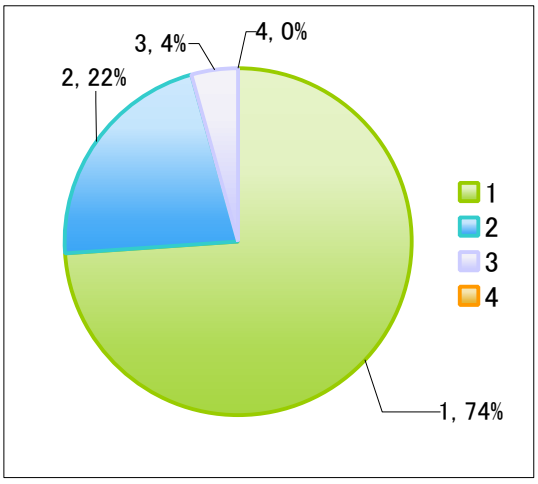
■全体

1.非常に良い	2.良い	3.普通	4.良くなかった
31	12	5	1



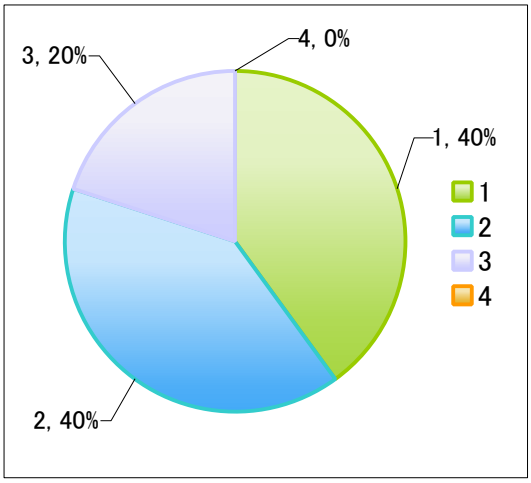
■学生用

1.非常に良い	2.良い	3.普通	4.良くなかった
17	5	1	0



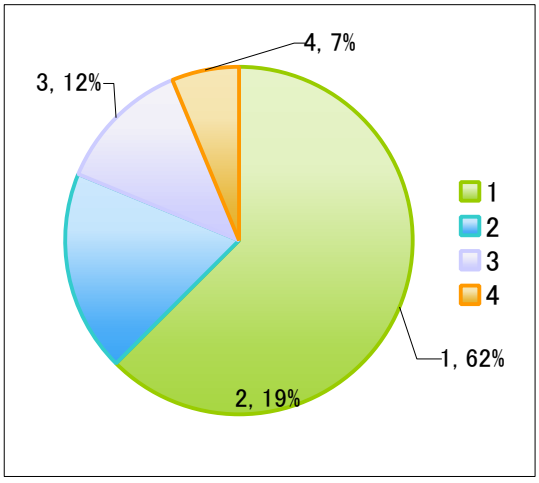
■一般観覧者用

1.非常に良い	2.良い	3.普通	4.良くなかった
4	4	2	0



■関係者用

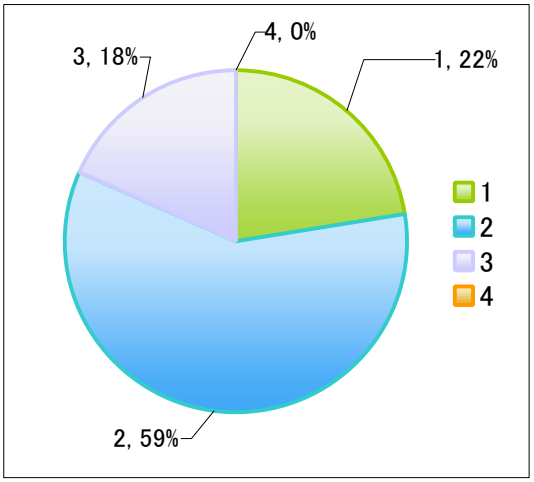
1.非常に良い	2.良い	3.普通	4.良くなかった
10	3	2	1



問１５－２．アイデアの地域貢献性：地域の課題や特色等を活かしたアイデアか！？

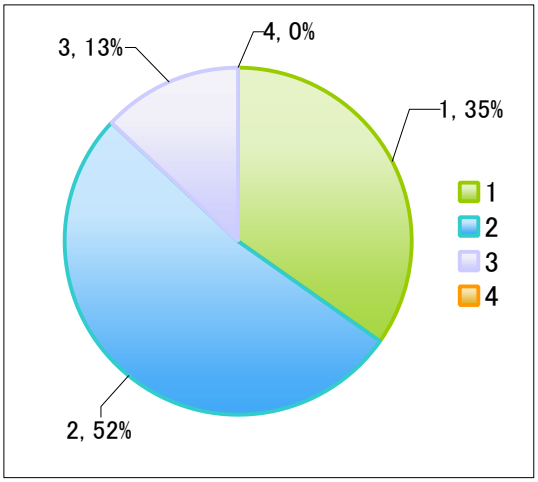
■全体

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
11	29	9	0



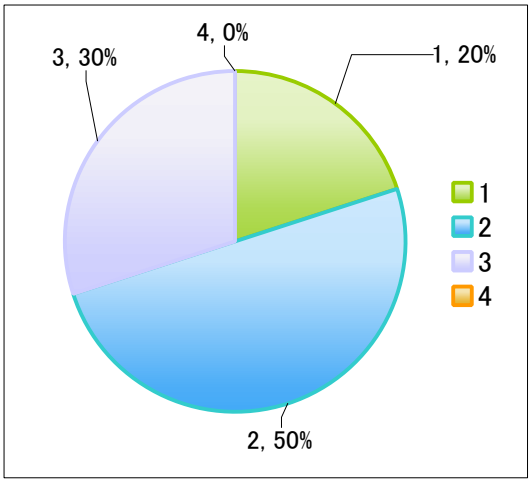
■学生用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
8	12	3	0



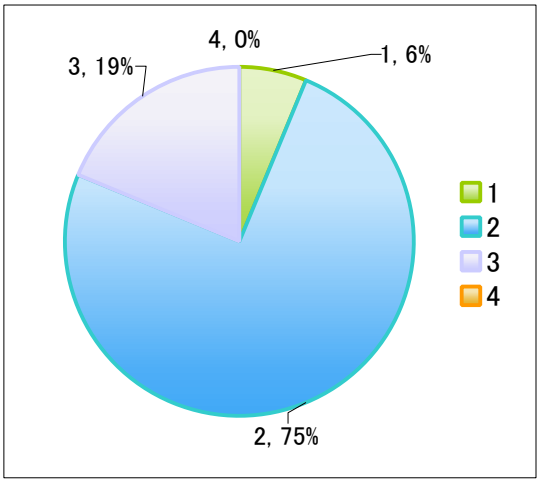
■一般観覧者用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
2	5	3	0



■関係者用

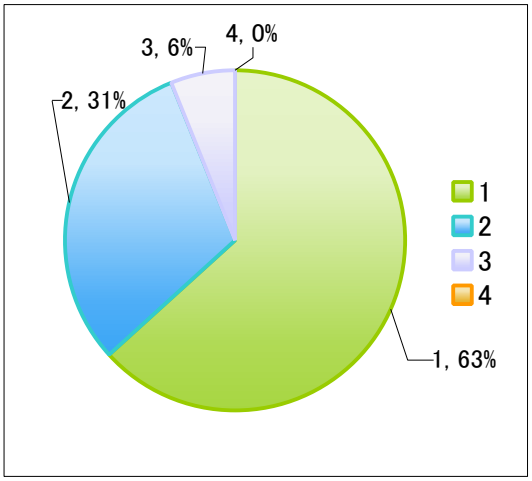
1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
1	12	3	0



問１５－３．アイデアの実現可能性：実際に地域で実現できるアイデアか！？

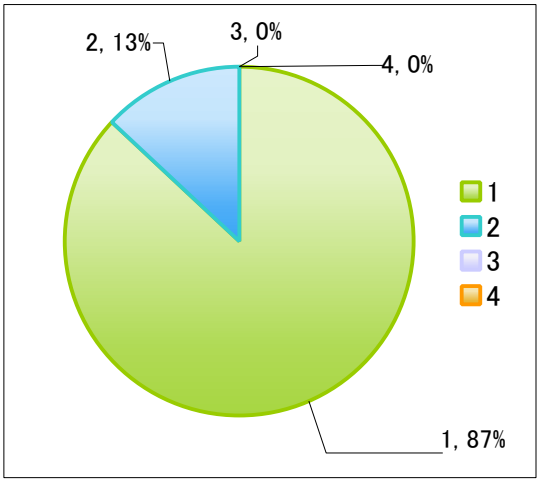
■全体

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
31	15	3	0



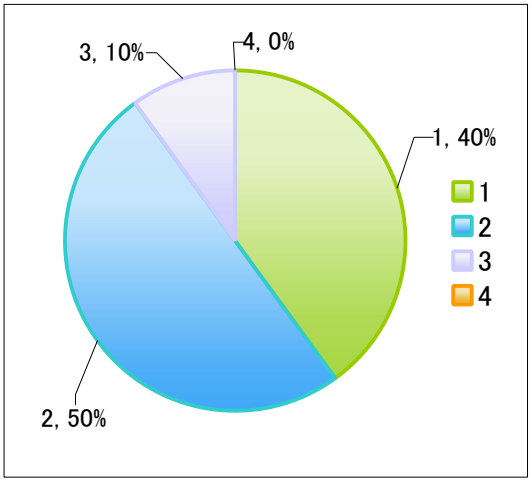
■学生用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
20	3	0	0



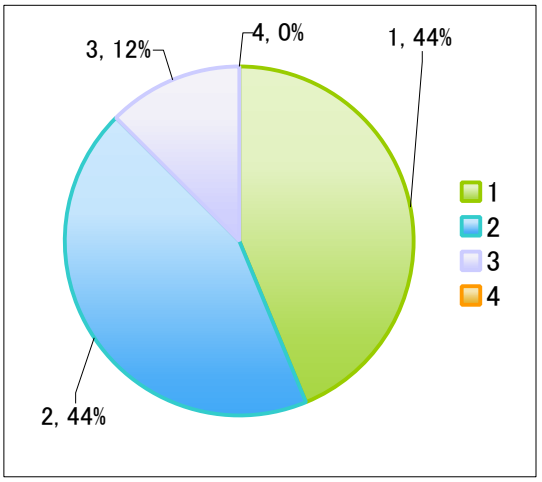
■一般観覧者用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
4	5	1	0



■関係者用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
7	7	2	0



問１５－４．柏市コースの感想を一言お聞かせください。

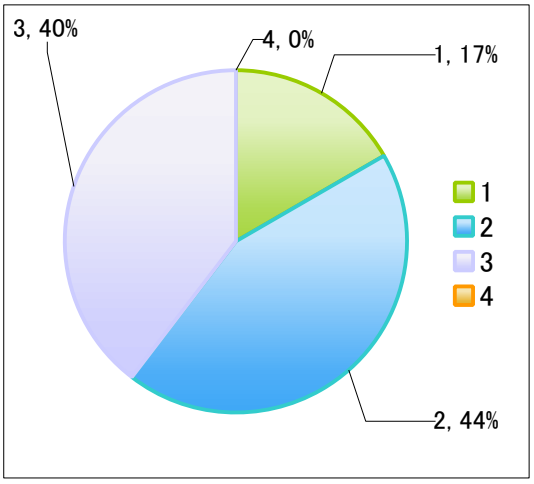
1	自分たちで運営し，実現した行動力に驚きました。
2	実際に企画したものを実現させたことは大きなものだったと思った。
3	事例を作ったのが良かった。
4	とても良かったです。
5	もっと参加すべきだったと後悔。
6	地域の貢献についてもう少し浸りたかった。
7	各部署協力
8	アイデアの実現性が非常に高いアイデアで，実際に実現していることは良いと思いました。
9	コンセプトを１つしぼり，そこから様々な展開にもっていったので凄いです。
10	お手玉の発想が新しい。おもしろい。実際にやってみる行動力に驚き。
11	お手玉いいよね。
12	前回は日程が合わず参加できなかったので，次は参加したいです。
13	誰でも楽しめる企画でとても良いなと思いました。
14	アイデアがおもしろい。かつシンプル。
15	実現可能性については良かったが，効果の説得力はイマイチだと思った。
16	手軽，安価。
17	面白く引きこまれる案だった。
18	ゲストがインタビュー。動きのある発表が分かりやすいし，楽しい。
19	まさかおて宝がこんな活用をされるなんて考えつかなかった。
20	正直なんで？おて玉？って感じたけど，面白そうだと思った。
21	お手玉すごい推してた。
22	少しアイデアが飛んでいる。
23	コンセプトが明確でした。
24	GOOD
25	地味なお手玉からの発展性が面白かった。
26	まず，プランニングの手順がすばらしい。包括的に，全世代のことを考えて提案できている点が，他チームより優れていると感じます。また，学生が主体というのも良いですね。あとは，個別の企画について，他の市町村の事例をもとに考察できるよいでしょう（大道芸なら横浜の野毛とか）
27	プロジェクトのコンセプトもあってすごくよかった。それぞれのつながりをもっと強調できるような発表を期待。
28	学生の主体性を大切にしつつ，様々な世代をつなげる可能性があると思いました。
29	素朴な遊び道具をコミュニケーション・ツールとしたところが大変斬新だった。
30	お手玉という突飛な発想に脱帽です。地域にはその地域ならではのブランド化。
31	プレゼンテーション力NO.1
32	イベント等が実現可能かどうかやってみて判断しているところが良い。
33	柏でお手玉という発想が斬新だった。
34	企画の掘り下げが素晴らしい。パフォーマンスも良かった。わかりやすかった。実施が良い。
35	１つのテーマに絞ったことが斬新さを出したと思います。まず，学生を企画に参加させることも具体的で良いと思います。
36	単発でない提案が良かった。

37	面白いアイデアでした。但し柏市との関連性は薄く，必然性が低く，ムーブメントになるのかという不安があります。
38	実現可能性が高いアイデアであったと思います。
39	連携の仕組みは良かったが，お手玉でなくても良いのでは。
40	発想が『お手玉』でしたが、具体的な内容ではなかったため地域活性化には繋がらないと思います。
41	サッカーと連動することはハードルが高いけど，柏市だから何となく宝＝玉ものが好きという潜在意識を上手につかったアイデアだと感心しました。

問１６．我孫子市の感想
問１６－１．学生らしいアイデア：斬新な，驚かされた，面白いアイデアか！？

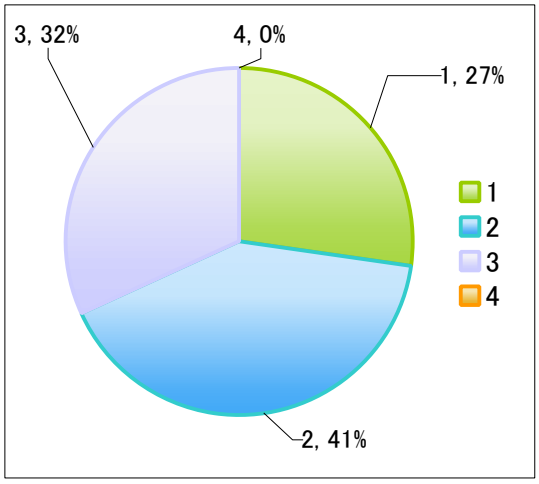
■全体

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
8	21	19	0



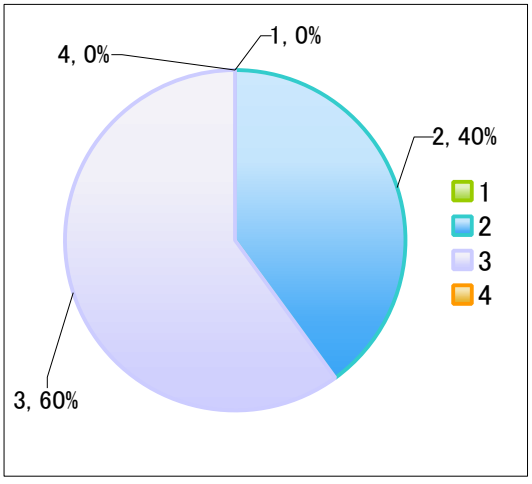
■学生用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
6	9	7	0



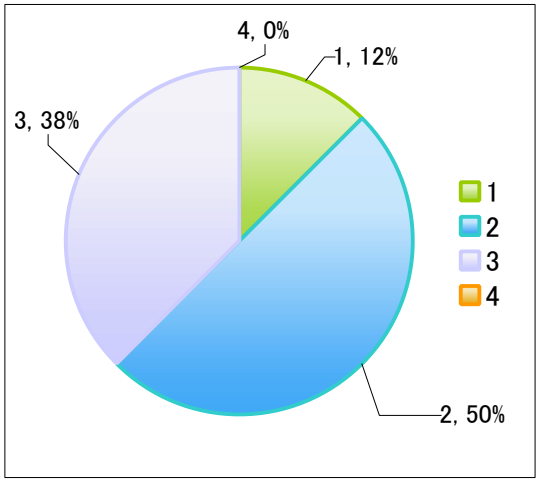
■一般観覧者用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
0	4	6	0



■関係者用

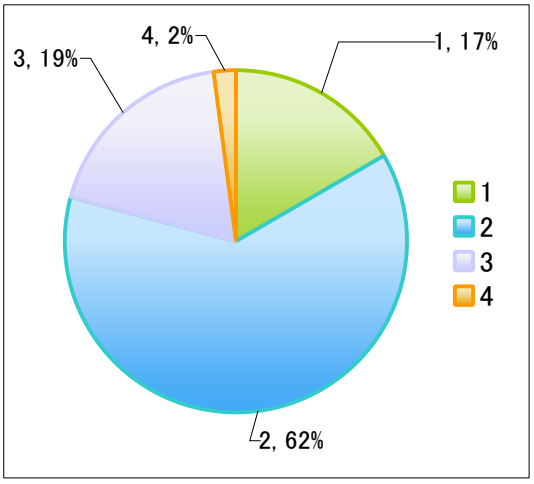
1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
2	8	6	0



問１６－２．アイデアの地域貢献性：地域の課題や特色等を活かしたアイデアか！？

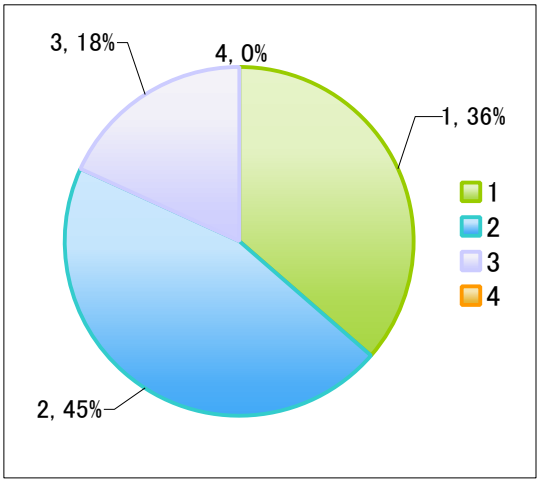
■全体

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
8	30	9	1



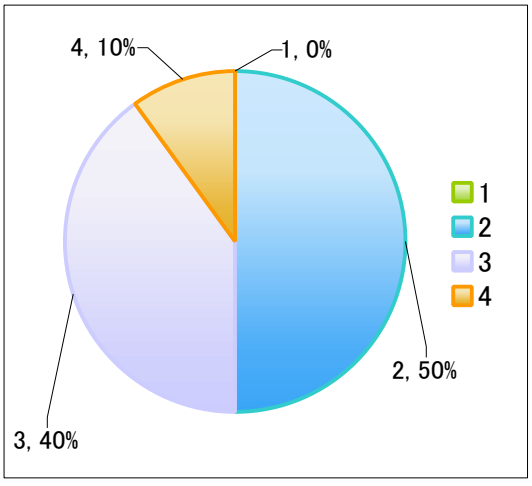
■学生用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
8	10	4	0



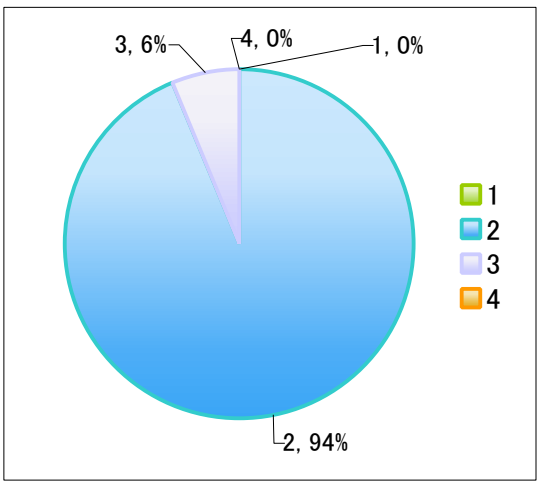
■一般観覧者用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
0	5	4	1



■関係者用

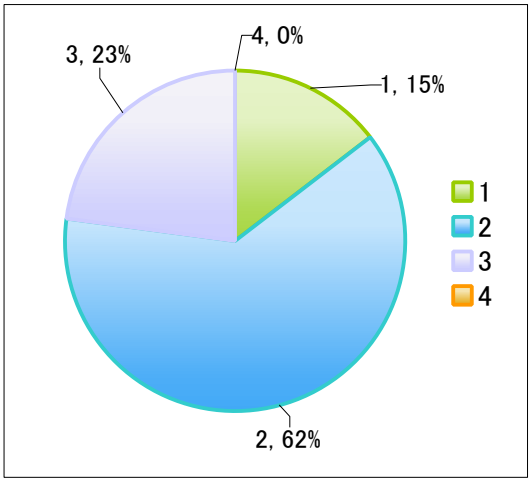
1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
0	15	1	0



問１６－３．アイデアの実現可能性：実際に地域で実現できるアイデアか！？

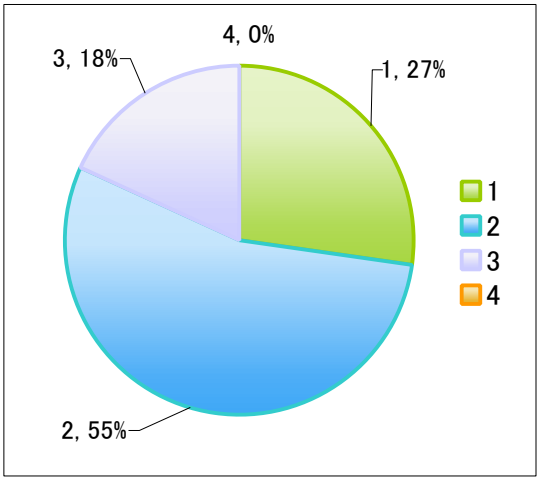
■全体

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
7	30	11	0



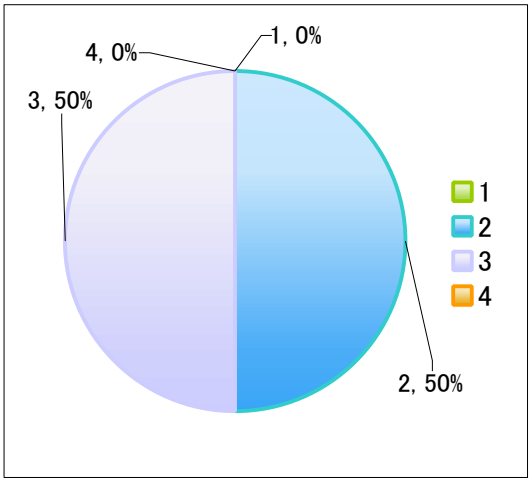
■学生用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
6	12	4	0



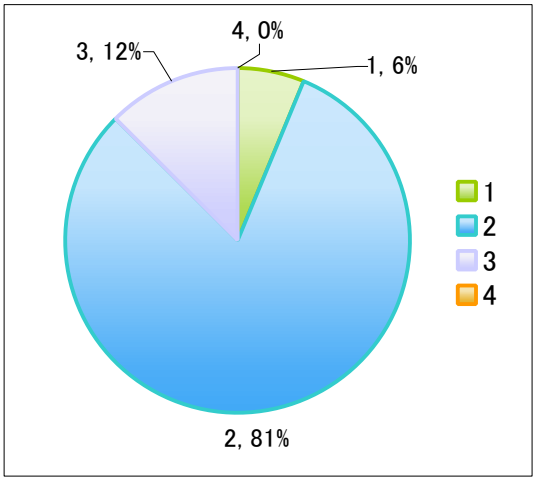
■一般観覧者用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
0	5	5	0



■関係者用

1,非常に良い	2,良い	3,普通	4,良くなかった
1	13	2	0



問１６－４．我孫子市コースの感想を一言お聞かせください。

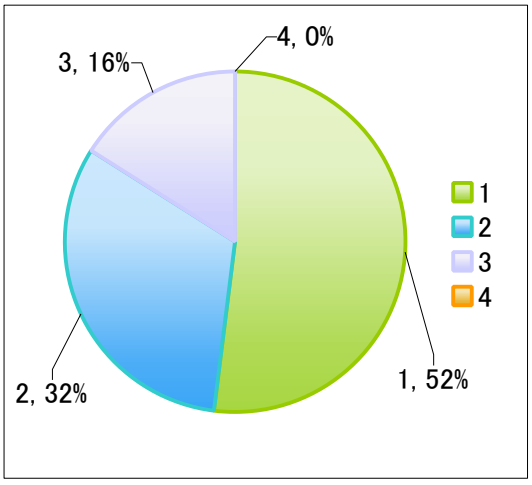
1	もっといいアイデアや内容があったのかなと思いました。
2	頑張りました。
3	プロジェクションマッピングはソフトが無料で学生でも作れるよ。
4	沼をキレイにしないとね。提案はわかりやすかった。
5	ウォーターボールに入りたいと強く思いました。
6	地域の課題を考えてのアイデアで実現されたら良いと思いました。
7	人数が少ない中，一人一人が意識をもち楽しくpresentationしていました。
8	プロジェクションマッピングが魅力的。手賀沼一本に絞って進めていったことが良い。
9	水上ボール。
10	プロジェクションマッピングを見てみたいです。
11	プロジェクションマッピングは，とても斬新な企画で良いなと思いました。
12	地域資源を上手に活かしたアイデアで良かった。
13	流行と既存の資源を上手く利用していると思った。
14	場所を１つにしぼったのがよい。地域を活かしている。
15	プロジェクションマッピングは話題性をつかんでいる。
16	奇をてらわない感じ。実現重視の案で良い。
17	具体的な提案で非常に現実味がある。
18	ウォーターボール等の斬新な提案だと感じた。
19	現実的でよかった。
20	実行させてみたい。
21	柏と一緒にできるのでは？
22	手賀沼と我孫子市のつながりをもう少しアイデアが欲しかった。
23	若い世代の定住，出生率の上昇を理由に「手賀沼」という資源に着目したのはおもしろいと感じましたが，なぜそのイベントにより「定住」「出生率の上昇」が図られるのかがわからない。であれば，イベントを単身者対象とし，結婚したら我孫子として何か定住促進支援を行うことを平行して検討すべきでは。ところで，我孫子の資源って「手賀沼や自然」だけたろうか。僕は，「我孫子」という地名自体が大きな資源だと思いますけど。子供は読めないから，興味を持ってくれるよね。
24	イベントの関連性がいまいち。
25	特に学生ならではの未来を描くという感じはあまりしませんでした。
26	参加型・体験型イベントという考え方は大変良かった。
27	プロジェクションマッピング等の費用面と，その効果についてはもう少し分析が必要でした。
28	コンセプトNO.1
29	市の課題に対し，イベントで交流人口を増やそうという目的が具体的に盛り込まれているところが良い。
30	ウォーターボールなど焦点が絞れていた。
31	データに基いたアイデアで良い。
32	体験型企画は，具体的で面白い。この企画に，いかに若い人を参加させるかが重要だと思います。
33	シンプルで分かりやすかった。
34	ボートレース等は実現可能性も高くてよいと思いました。プロジェクションマッピングのコンテンツは，業者に任せても良いのではと感じました。
35	手賀沼を活かしたアイデアは良かったと思います。

36	発表についてはまとまっていて良かった。イベントの実現性は難しいのでは。
37	我孫子の歴史や地域のことも踏まえた良いプレゼンができたと思います。
38	単に公園のイベント提案に見えてしまったのが残念。どんな若者がどの頻度で来るのかつめると，内容が濃くなると思いました。ボートレースはぜひ参加たいと思いました。

問１７．他大学生との交流について，感想をお聞かせください。

■学生用

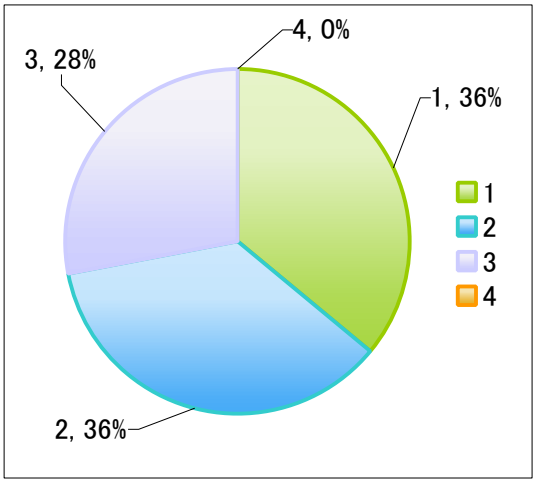
1.非常に良い	2.良い	3.普通	4.良くなかった
13	8	4	0



問１８．関係者（指導教授・自治体など）との交流について，感想をお聞かせください。

■学生用

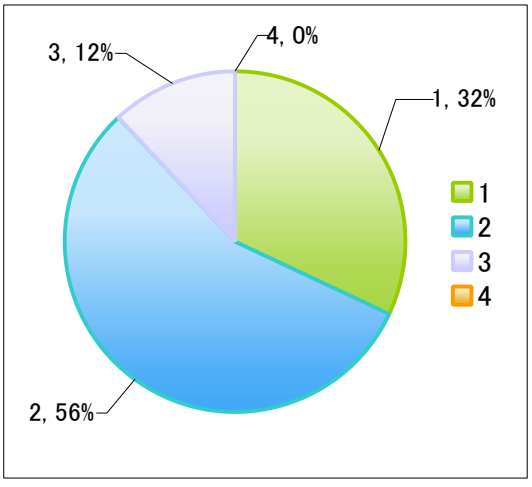
1.非常に良い	2.良い	3.普通	4.良くなかった
9	9	7	0



問１９．学生が他大学や自治体などと交流できる当該イベントの感想をお聞かせください。

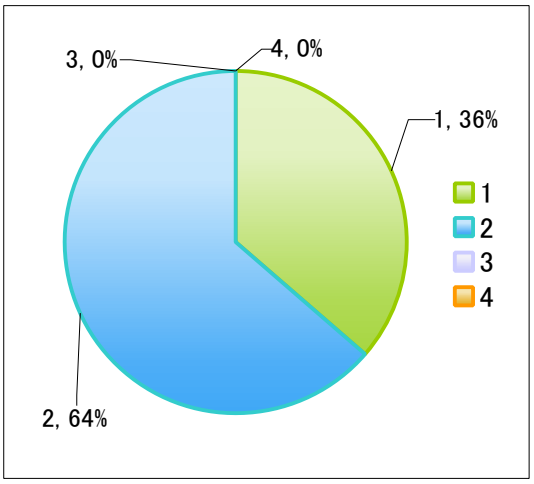
■全体

1.非常に良い	2.良い	3.普通	4.良くなかった
8	14	3	0



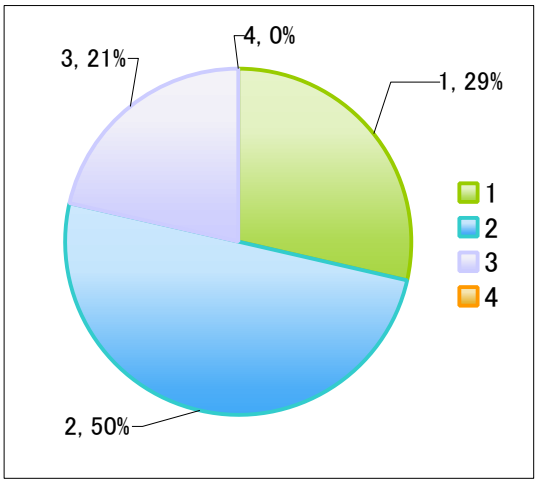
■一般観覧者用

1.非常に良い	2.良い	3.普通	4.良くなかった
4	7	0	0



■関係者用

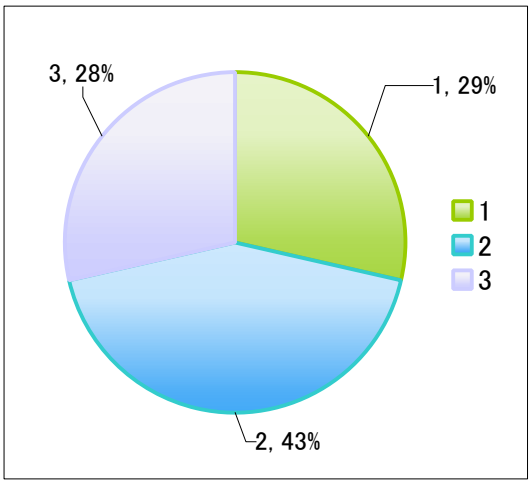
1.非常に良い	2.良い	3.普通	4.良くなかった
4	7	3	0



問２０．来年度の大学コンソーシアム東葛学生部会のメンバーを募集しています。そこで，学生ワークショップ等の企画・運営に興味があるかお聞かせください。

■学生用

1.参加したい	2.説明を聞いてから考えたい	3.参加したくない
6	9	6



問２１．その他のご意見・提案などがありましたらご記入ください。

1	コース毎に自治体に経過を伝える日を予め決めて欲しかったです。 スケジュールの詰めが甘くて，皆が一同に揃う機会が少なかったからです。
2	お疲れ様です。
3	楽しかったです。
4	大学の授業が終わって１９：00からなどの勉強会がとても都合がよかったです。また，企画，プレゼンという実践的な内容に対して，とても勉強になりました。交流も深められ，いい機会になりました。ありがとうございます。
5	お疲れ様です。
6	今回初めて参加しましたが，班のみんなで力をあわせて，１つのことを成し遂げたことにやりがいを感じました。他班の方とも，もっと交流をしてみたかったです。企画，プレゼンテーションを経験することで，自分の自信につながりました。
7	スケジュールが合えば，ぜひ参加したいです。（研究等忙しそうなので）
8	中間報告会は2回ほど行ってほしいと思った。
9	本当に楽しかったです。
10	メンバーの自己紹介があったらよかった。
11	せっかく大学間で連携しながら面白いことを開催しているのに，この研究会自体が各市民に全く開かれていない点が最大の問題でしょうね。 「おもしろい案を学生が一生懸命考えているので，ぜひ来てください」と大学の方にあおっていただきましたけど，これがどのように申し込んだらよいのかもわからないし，果たして民間の人間が申し込んでよいものかもわからない。大学さんのHPでは，「大学関係者に限る〇名」みたいな告知でしたから。で，この空席状況では，折角の学生さんの苦労も浮かばれません。キッコーマンさんやJR東日本さんなど，このような発表を聞けば，「うちらこんな支援ができる」と思うでしょうし，そして，その「つながり」こそが，学生の就業力の育成につながるのではないでしょうか。
12	1泊2日でなくなった分，内容が深くなった。ただ，学生間でモチベーションの差が見られた。 意見交換の際，そんなに意見交換されていなかった気がする。
13	短期の中で，フィールドワークやトライアルなど，複数大学の学生たちが協力して，立派な発表をする姿に感動しました。 どちらかというと「イベント系」が多く，学生として自分たちは地域のために何ができるか，より多くの学生が課題解決に取り組んでくれるようになるためのしかけなど，大学や行政が一番知りたい所の提案をしていただければ有難いと思いました。 ※もし，短期間でアウトプットを期待するのであれば，各市の名産品や名所，歴史的人物など共通の切口で「お題」を出し，それを活用して何ができるか？など絞って行うと良いかと思います。

14	他大学の学生とともに学生目線で地域活性化を考えることができる良い機会になったと思いますが、できればグループ分けせずに、皆が一つのことを一丸となって考える場にしたほうが実現可能と考えます。今回の柏市グループの『お手玉』、実現可能ですが皆様は本当に『お手玉』でどのように地域活性化をかんがえるのでしょう？結果ありきかもしれませんが、数の論理だったかも・・・？と、少し複雑な思いでした。どこのグループも長い期間をかけた結果です、どうして最優秀賞なるものを決めなければならないのか、他のグループでも面白い企画がありました、学生にとってはプレゼンの練習にもなり、まったく無駄とは言いませんが試験期間をやりくりして時間を作って、寒い夜の遅い時間までたずさわってきているのですから、今後の運営についてお考えいただきたいと思います。　女子学生にとっても夜の９時までは、遅すぎます、何卒よろしくお願い申し上げます。
15	一般の方の参加が増えると学生の励みになるので，広報のあり方を検討する必要があるように思う。
16	一般観覧者募集方法について，本学の講演会にて，チラシ配布を検討しましたが，「HPのみの周知する」との方針は，非常にもったいないと思いました。チラシを作成して，配布してもよろしいのではないでしょうか。
17	総会が一昨年より人数が減っているという話があったが，各市の班分けを考えると，このくらい（全体で３０人）程度の人数が良いと思った。
18	活動を継続的に発展させていくためにも，共通のプラットホームが必要だと思う。Word　Pressなどを用いて，データベースと連動させれば，人材バンクとしても活きてくるように思われる。
19	1泊2日ではない今回の形式では，検討時間に余裕があったため，様々な調整ができたと思います。逆に大学の学事日程により学生によってはタイトなスケジュールを強いられているようです。 来年度は，日程を再検討した上で，今回の形式で実施してはいかがでしょうか
20	学生の指向が分かって参考となりました。
21	以前に比べ時間をかけ，調査，分析，まとめを行ったからか発表の質が上がって良かった。伝えたいことが理解できた。
22	学生に未来像を語ってもらう難しさを感じました。 ご関係者の皆さまのご協力と熱意を感じました。続けてください。 理系の学生がもっと入ると面白いかもと思います。地理的特性や産業に対しての視点も増えていくと思います。 コーディネーターに各市の方が何名も協働作業に参加されていて，とても良いと思いました。学生にとっても，貴重な機会だったと思います。

大学コンソーシアム東葛学生部会
事務局　柏市協働推進課
柏市柏５－１０－１
Tel:04-7167-0941